

令和6年度
事業報告書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月 31日

公益社団法人 神奈川県薬剤師会

はじめに

令和6年度は、能登半島地震の被災地において被害の回復が進まない中、9月に再び能登半島地域が豪雨災害に見舞われ、さらに令和7年2月には岩手県大船渡市で大規模な山林火災が発生するなど、近年の自然災害の激甚化、多様化が広く認識された1年でした。

こうした災害は、われわれが住む神奈川県においても、いつ発生してもおかしくない状況にあることから、本会では、かねてより県と調整を進めてきた「災害薬事コーディネーター」の設置ならびに災害対応力に優れた薬剤師の人材育成に向けて、全面的に協力していく方針です。

また、薬局が地域の医薬品供給拠点としての役割を果たすために、令和6年度の調剤報酬改定において評価基準の見直しが行われ、これに伴って地域における休日・夜間の調剤、在宅対応体制や災害あるいは新興感染症の発生時等に必要な体制などの薬局情報が地域薬剤師会のホームページ上で公開されるようになりました。

今後、地域における医薬品提供体制のさらなる充実強化に向けて、国の新たな取組が進められていく見通しです。

そのような状況下、本会は公益社団法人として、薬剤師職能の向上並びに薬学・薬業の進歩発展を図ることを通じ、県民の健康増進、福祉、保健衛生及び地域医療の向上に寄与するという使命・役割を果たすべく、令和6年度の各種事業を推進してまいりました。

具体的には、薬学・薬業の進歩発展に寄与する事業として、横浜薬科大学と連携して「神奈川県薬剤師会学術フォーラム in ハマヤク」を開催し、薬学生にも参加していただいて口頭発表やポスター発表を行ったほか、「睡眠」をテーマにした県民公開講座では、同大学の学園祭に会場された一般県民も含め、多くの方にご参加いただきました。

また、児童・生徒等に関する分野では、学校環境衛生管理事業等に着実に取り組んだほか、学校保健向上事業として令和7年度に本会が幹事県となって開催する「第75回全国学校薬剤師大会」の実行委員会を立ち上げ、開催準備を進めました。

さらに、医薬品適正使用に関する分野では、医薬品の過剰使用（オーバードーズ）などの防止啓発イベントである「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーンを精力的に行うとともに、「くすりと健康すこやかフェア」の開催や「くすりと健康相談薬局県下一斉相談週間」の実施、健康測定機器の貸出し事業等を通じて、医薬品適正使用の推進、セルフメディケーションの啓発等に取り組みました。

医療安全に関する分野では、本会が精力的に進めている多重受診・偽造処方箋対策として、リスクマネジャーを通じて前年度実績を上回る情報提供を行い、再発防止に努めました。

また、共益事業に位置付けられているリスクマネジメント事業として、薬局プレアポイド事例を収集し、事例集を作成して会員薬局へ配付しました。

地域医療に関する分野では、令和6年度調剤報酬の改定に伴い保険薬局ハンドブックを改訂し、会員薬局への配付及び一般販売を行うとともに、在宅医療支援薬局リストを更新し

て関係機関に配付し、ホームページにもその内容を掲載しました。

また、「オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会」をオンデマンド配信形式で実施し、会員のみならず多くの一般受講者を集めるなど、今日の薬剤師を取り巻く新たな課題への対応力向上等に努めました。

これらの取組を進める中、本会の2大事業の一つとして取り組んできた「くすりと健康相談薬局」事業については、令和6年度は新規19件、更新120件を認定し、その総数は継続とあわせて前年度から4増の265薬局となりました。

もう一つの「認定薬剤師研修制度」については、新規11名、更新9名を認定し、認定者総数は前年度から2割増の66名となりました。

この他にも、本会自体の強化の取組として、将来の若手会員獲得を見据えた「神奈川県薬剤師会ルーキー会員（仮称）トライアルメンバー」事業を前年度に引き続き実施し、メンバーに本会の委員会活動等を体験してもらうとともに、交流会を2回開催して若手・中堅会員との意見交換を行いました。

さらに広報事業では、本会の公認キャラクター「神奈薬ほう介」を使用した各種PR活動や、SNSを活用した県民向け情報発信などに努めました。

あわせて、本会の活動拠点である総合薬事保健センターの長寿命化を図るため、3階フロアの空調設備を中心とした大規模修繕工事（第1期）を実施しました。

なお、県行政に対しては、「神奈川県災害時保健医療救護計画」の改定作業にあたり、前述の「災害薬事コーディネーター」に関する記述内容等について本会から意見・要望をお伝えし、必要な事項をしっかりと計画に反映していただきました。

このように、令和6年度においては、本会は公益事業をはじめ諸事業を精力的に進め、一定の成果をあげることができました。

目 次

頁

会務報告

1 会員数	-----	1
2 各種会議開催状況	-----	1
3 各種委員等就任状況	-----	6
4 会員の表彰	-----	11
5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況	-----	13

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業	-----	16
2 児童・生徒等に関する事業	-----	21
3 医薬品適正使用に関する事業	-----	24
4 医療安全に関する事業	-----	32
5 公衆衛生に関する事業	-----	34
6 地域医療に関する事業	-----	37
7 災害時医療救護活動に関する事業	-----	44

II 法人事業

1 法人組織運営に関すること		
(1) 総会、理事会等開催など	-----	46
(2) 組織強化と財務の健全化	-----	47
(3) 会員管理	-----	50

III 共益事業

1 共益事業		
(1) 薬剤師の生涯学習の推進	-----	51
(2) リスクマネジメント等事業	-----	57
(3) 広報事業	-----	59
(4) 会員に向けた各種支援	-----	64

IV 収益事業

1 収益事業	-----	65
--------	-------	----

その他

1 地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業	-----	67
------------------------	-------	----

参考資料

令和6年度公益社団法人神奈川県薬剤師会事業計画	-----	68
令和6年度事業体系図	-----	70
令和6年度神奈川県薬剤師会各種委員会等委員名簿	-----	72
令和6年度神奈川県薬剤師会組織図	-----	73

会 務 報 告

1 会員数

	第 1 種 会 員	2,203名	(対3/31 54名減)
会員総数	3,716名	第 2 種 会 員	1,288名 (対3/31 73名減)
(対3/31 144名減)	第 3 種 会 員	27名	(対3/31 2名減)
	賛 助 会 員	189名	(対3/31 13名減)
	名 誉 ・ 有 功 会 員	9名	(対3/31 2名減)

(P15参照)

2 各種会議開催状況

(1) 総 会 2回

ア 通常総会

- ・開 催 日 令和6年6月23日(日)
- ・開 催 場 所 神奈川県総合薬事保健センター1階多目的ホール
- ・代議員総数 65名(定数)
- ・出席者数 出席者 63名 内訳 出席 50名
委任状 3名
書面表決 10名
- ・報告事項
 - 報告第1号 令和5年度事業報告について
 - 報告第2号 日本薬剤師会第103回臨時総会について
 - 報告第3号 公益法人運営特別会費検討委員会からの中間報告について
 - 報告第4号 公益社団法人神奈川県薬剤師会会費等納入運用要綱の改正について
 - 報告第5号 神奈川県薬剤師会ルーキー会員(仮称)トライアル事業の経過報告について
- ・審議事項
 - 議案第1号 令和5年度決算について
賛成多数により原案どおり可決された。
 - 議案第2号 公益社団法人神奈川県薬剤師会定款の一部改正について
定款の変更は定款第22条第2項により、総代議員の議決権の3分の2以上の賛成が必要であるため、採決を行い、出席50名、委任状3名、書面表決10名の合計63名が、賛成し、原案どおり可決された。
 - 議案第3号 公益社団法人神奈川県薬剤師会会長候補者及び副会長候補者選挙規則の一部改正について
賛成多数により原案どおり可決された。
 - 議案第4号 公益社団法人神奈川県薬剤師会会長候補者及び副会長候補者選挙規則施行細則の一部改正について
賛成多数により原案どおり可決された。
 - 議案第5号 公益社団法人神奈川県薬剤師会理事及び監事選挙規則の一部改正について

賛成多数により原案どおり可決された。

議案第6号 公益社団法人神奈川県薬剤師会理事及び監事選挙規則施行細則の一部改正について

賛成多数により原案どおり可決された。

議案第7号 代議員選挙管理委員会の補欠の委員の指名について

賛成多数により原案どおり可決された。

イ 臨時総会

- ・開催日：令和7年3月9日（日）
- ・場所：神奈川県総合薬事保健センター 1階多目的ホール
- ・代議員総数：65名（定数）
- ・出席者数：出席者 64名 内訳 出席 63名
書面表決 1名

・報告事項

報告第1号 第2次公益法人運営特別会費検討委員会からの答申について

報告第2号 神奈川県薬剤師会ルーキーメンバー制度規程について

・審議事項

議案第1号 令和7年度事業計画について

賛成多数により原案どおり可決された。

議案第2号 令和7年度収支予算について

賛成多数により原案どおり可決された。

議案第3号 令和7年度借入金最高限度額について

賛成多数により原案どおり可決された。

議案第4号 エリア推薦理事候補者にエリア長が自らを推薦する場合の取り扱いについて

賛成多数により原案どおり可決された。

議案第5号 神奈川県薬剤師会会長候補者の選任について

岩井委員長（役員選挙管理委員会）から進行について説明があり、選出方法は議長に一任された。候補者は3名で、会長候補者及び副会長候補者選挙規則第9条2項により投票を実施し、会長候補者を選出した。

第1回投票

候補者別の得票数は以下の通り。

- ・後藤知良 候補：27票
- ・長津雅則 候補：20票
- ・寺師三千彦 候補：16票

いずれの候補者も過半数（32票）に達しなかったため、会長候補者及び副会長候補者選挙規則第13条第1項及び第2項により上位2名による再投票を実施した。

第2回投票

候補者別の得票数は以下の通り。

- ・後藤知良 候補：30票
- ・長津雅則 候補：32票
- ・白票：1票

上記の結果、長津雅則候補が会長候補者に選任された。

議案第6号 神奈川県薬剤師会副会長候補者の選任について

岩井委員長（役員選挙管理委員会）から進行について説明があり、選出方法は議長に一任された。候補者は3名で、会長候補者及び副会長候補者選挙規則第11条により選ぶべき員数の4名以内を超えないため、投票は行わず、その候補者をもって当選者としてよいか諮られ、賛成の挙手（63名）により、副会長候補者3名を選出した。

副会長候補者は以下の通り、選任された。

- ・佐藤克哉 候補
- ・橋本真也 候補
- ・大島崇弘 候補

(2) 理事会 6回 (5/23、7/4、9/19、11/6、12/19、1/23)

(3) 常務理事会 24回 (4/4、4/18、5/9、5/23、6/6、6/20、7/4、7/18、8/1、8/22、9/5、9/19、10/3、10/24、11/6、11/21、12/5、12/19、1/9、1/23、2/6、2/20、3/6、3/19)

(4) 監査会 2回 (5/15、11/13)

(5) 地域・職域薬剤師会会長協議会 4回

開催日	講演内容等
第1回 (4/25)	講演：能登半島地震での支援活動から見えてきた課題 講師 日向彰 氏 (災害対策検討委員会)
第2回 (7/18)	協議テーマ：地域における夜間・休日の医薬品提供体制について 座長 長津雅則 氏 (神奈川県薬剤師会副会長)
第3回 (11/21)	協議テーマ：会員増強対策について 座長：大島崇弘氏 (神奈川県薬剤師会常務理事)
第4回 (2/13)	協議テーマ：災害対策について 座長：平井和友氏 (神奈川県薬剤師会専務理事)

(6) 委員会

- | | |
|---|---|
| ① 組織会員委員会 | 4回 (6/6、8/23 web 併用、10/11 web 併用、1/31) |
| ② 広報委員会 | 4回 (4/26、8/30 web、12/6、2/7 web) |
| ・HP 打合せ会 | 1回 (1/27 web) |
| ③ 薬壺編集委員会 | 6回 (5/29 web、7/24・9/25 web 併用、11/27 web、1/22 web 併用、3/26 web) |
| ④ 生涯学習委員会 | 3回 (6/7・11/7・2/17 web) |
| ・研修企画・運営小委員会 | 3回 (5/31・10/30・2/14 web) |
| ・認定薬剤師認定小委員会
(審査会：同日開催) | 12回 (4/10・5/15・6/12・7/12・8/14・9/12・10/9・11/14・12/18・1/29・2/17・3/18 web) |
| ・外部評価小委員会 | 1回 (6/25) |
| ⑤ 医療・介護保険委員会 | 4回 (6/13・8/22・11/14・2/7) |
| ⑥ 公衆衛生・学薬委員会 | 4回 (4/4 web、7/11・10/10web 併用・12/12) |
| ・小委員会 | 0回 |
| ⑦ 地域保健委員会 | 5回 (5/17・8/8・9/20・11/7・2/25 web 併用) |
| ⑧ リスクマネジメント委員会 | 4回 (5/24・7/25・9/5・2/14web 併用) |
| ・リスク対策小委員会 | 2回 (8/26・1/7web) |
| ・薬局プレアボイド小委員会 | 1回 (7/19 web) |
| ・リスクマネジメント小委員長会 | 2回 (7/3・11/18web) |
| ・調剤事故検討会 | 1回 (2/14web) |
| ⑨ 倫理研修委員会 | 2回 (8/19・11/14web) |
| ⑩ 学術大会実行委員会 | 4回 (4/16・5/27・9/2・3/5 web) |
| ⑪ 実務実習委員会 | 4回 (6/14・10/28 web 併用、12/20、3/19) |
| ・アドバンスワークショップ検討会 | 0回 |
|  ⑫ 災害対策検討委員会 | 2回 (6/5 web 併用、3/17web) |
| ⑬ 総会議事運営委員会 | 2回 (4/18web 併用・12/5) |
| ⑭ 代議員選挙管理委員会 (書類審査含む) | 0回 |
| ⑮ 役員選挙管理委員会 (書類審査含む) | 3回 (11/19web、2/25、3/18web) |
| ⑯ 第2次公益法人運営特別会費検討委員会 | 0回 |
| ⑰ くすりと健康相談薬局制度運営協議会 | 4回 (4/4・8/1・10/3・2/6 web 併用) |
| ⑱ くすりと健康すこやかフェア実行委員会 | 2回 (7/1・9/13 web 併用) |
| ⑲ 医薬品適正使用検討委員会 | 1回 (12/19書面会議) |

(7) その他会議

- ① 正副会長会 15回 (4/4、5/9、6/6、6/20、7/4、8/1、9/5、10/3、11/6、11/21、12/19、1/9、2/6、3/6、3/19)

- ② 春秋会 1回 (4/11)
- ③ 新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG 2回 (9/25、3/3)
- ④ 倫理審査会 (迅速審査含む) 3回 (6/8、8/15、8/19)
- ⑤ 各種委員会委員長会議 2回 (10/24、2/20)
- ⑥ 神奈川県薬剤師会会長賞等選考審査会 1回 (11/21)
- ⑦ 全国学校薬剤師大会準備委員会 1回 (11/26web)
- ⑧ 薬局プレアボイド検討会 1回 (12/17web)
- ⑨ 神奈川県薬業団体新年賀詞交換会 1回 (1/10)
- ⑩ 神奈川薬業協議会 1回 (2/6)
- ⑪ 第4回研修事業連絡会議 1回 (2/26)
- ⑫ 地域薬剤師会実務実習担当者会議 1回 (3/19)

3 各種委員等就任状況

《行政関係》

(令和7年3月31日現在)

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
1	関東信越地方社会保険医療協議会	小川会長	委員	関東信越厚生局
	関東信越地方社会保険医療協議会神奈川県部会	阿部理事	臨時委員	関東信越厚生局
2	神奈川県薬事審議会	小川会長	副会長	薬務課
3	神奈川県薬事審議会薬物評価検討部会	小川会長	会長	薬務課
4	神奈川県献血推進協議会	唐澤理事	委員	薬務課
5	神奈川県薬物乱用対策推進本部会	小川会長	本部員	薬務課
6	神奈川県薬物乱用対策推進本部啓発・青少年対策部会	八楯理事	部会員	薬務課
7	神奈川県後発医薬品使用促進協議会	阿部理事	委員	薬務課
8	薬物クリーンかながわ推進会議	小川会長	会長	薬務課
9	薬物クリーンかながわ推進会議運営委員会	後藤副会長	委員	薬務課
10	薬物クリーンかながわ推進会議広報委員会	藤本理事	委員	薬務課
11	神奈川県医療審議会	小川会長	委員	医療課
12	神奈川県保健医療計画推進会議	橋本副会長	委員	医療課
13	神奈川県保健医療計画推進会議糖尿病医療連携検討部会	唐澤理事	委員	医療課
14	神奈川県医療安全推進協議会	後藤副会長	委員	医療課
15	神奈川県医療安全対策事業実行委員会	石井理事	委員	医療課
16	神奈川県医療勤務環境改善支援センター連絡調整会議	泉理事	委員	医療課
17	神奈川県地域医療介護連携ネットワーク構築検討会議	後藤副会長	委員	医療課
18	神奈川県外国人医療推進検討会議	伊藤理事	委員	医療課

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
19	神奈川県災害医療対策会議	後藤副会長	委員	医療危機対策本部室
20	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（医療救護体制部会）	後藤副会長	構成員	医療危機対策本部室
21	神奈川県災害医療対策会議災害時医療救護対策部会（ロジスティック部会）	小林常務理事	構成員	医療危機対策本部室
22	神奈川県エイズ対策推進協議会	八鍬理事	運営委員	医療危機対策本部室
23	神奈川県感染症対策協議会	橋本副会長	委員	医療危機対策本部室
24	かながわ健康プラン21推進会議及びがん克服県民会議	大島常務理事	委員	健康増進課
25	神奈川県医療費検討委員会	後藤副会長	委員	医療保険課
26	神奈川県国民健康保険運営協議会	後藤副会長	委員	医療保険課
27	医食農同源研究会 〈漢方理解促進等検討部会委員兼務〉	深澤理事	委員	健康増進課
28	神奈川県アレルギー疾患対策推進協議会	森井理事	委員	健康増進課
29	神奈川県公衆衛生協会	小川会長	理事	健康増進課
30	スモークフリー推進かながわ基金運営委員会	藤本理事	委員	健康増進課
31	神奈川県慢性腎臓病（CKD）対策連絡協議会	阿部理事	委員	がん・疾病対策課
32	神奈川県慢性腎臓病（CKD）診療連携構築協議会	阿部理事	委員	がん・疾病対策課
33	神奈川県地域包括ケア会議及び神奈川県在宅医療推進協議会	佐藤常務理事	委員	医療課 高齢福祉課
34	かながわ高齢者保健福祉計画評価・推進等委員会	長津副会長	委員	高齢福祉課
35	神奈川県認知症施策推進協議会	佐藤常務理事	委員	高齢福祉課
36	神奈川県学校喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育推進協議会	小川会長	委員	保健体育課
37	神奈川県学校給食特別優良学校現地審査会	唐澤理事	委員	保健体育課
38	学校給食表彰審査会	唐澤理事	委員	保健体育課
39	学校保健及び学校安全表彰（文部科学大臣表彰）に係る選考委員会	小川会長	委員	保健体育課

No	審議会等名	委員等	役職名	関係部署
40	神奈川県自然環境保全審議会温泉部会	夏目理事	委員	生活衛生課
41	かながわ医療通訳派遣システム事業運営委員会	伊藤理事	委員	国際課
42	かながわ地球環境保全推進会議（かながわ脱炭素推進会議）	平井専務理事	推進委員	環境計画課
43	脱炭素社会実現に向けた普及啓発プロジェクト会議	平井専務理事	-	環境計画課
44	かながわ青少年社会環境健全化推進会議	小川会長	委員	青少年課

《その他》

(令和7年3月31日現在)

No	審議会等名	委員等	役職名	関係団体
1	(公社)日本薬剤師会	長津副会長	常務理事	日本薬剤師会
2	(公社)日本薬剤師会 法制委員会	関水康成	委員	日本薬剤師会
3	(公社)日本薬剤師会 薬価基準検討会	佐村優	委員	日本薬剤師会
4	(公社)日本薬剤師会 一般用医薬品等委員会	堀川壽代	委員	日本薬剤師会
5	(公社)日本薬剤師会 薬局製剤・漢方検討会	八木多佳子	委員	日本薬剤師会
6	(公社)日本薬剤師会 調剤業務・医療安全委員会	小林常務理事	委員	日本薬剤師会
7	(公社)日本薬剤師会 薬事衛生委員会	小出彰宏	委員	日本薬剤師会
8	(公社)日本薬剤師会 行政薬剤師部会	諸角浩利 田中治己	幹事	日本薬剤師会
9	(公社)薬剤師認定制度認証機構	小川会長	社員	薬剤師認定 制度認証機 構
10	認定薬剤師認証研修機関協議会 (CAPEP)	久保田常務理事	委員	認定薬剤師 認証研修機 関協議会
11	(一社)薬学教育評価機構評価委員会	久保田常務理事 花島情報センター長	評価実施員	薬学教育評 価機構
12	(一社)薬学教育協議会 病院・薬局実務実習関東地区調整機構委員	久保田常務理事	委員	薬学教育協 議会関東地 区調整機構

No	審 議 会 等 名	委 員 等	役職名	関係団体
13	神奈川県学校保健連合会	小川会長 後藤副会長 小林常務理事 八鍬理事	副会長 理事 評議員 評議員	県学校保健連合会
14	神奈川県学校保健連合会学校薬剤師部会	小川会長	部会長	県学校保健連合会
15	神奈川県学校保健連合会健康手帳改訂委員会	八鍬理事	委員	県学校保健連合会
16	神奈川県立学校保健会	唐澤理事	理事	県立学校保健会
17	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部審査運営協議会	小川会長	幹事会参与	診療報酬支払基金
18	社会保険診療報酬支払基金神奈川支部診療報酬請求書審査委員会	長津副会長 佐藤常務理事 亀山俊	審査委員	診療報酬支払基金
19	神奈川県保険者協議会	長津副会長	委員	国保連合会
20	神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会	小林常務理事 大島常務理事 夏日理事 福嶋理事 藤本理事 渡邊美智留 瀧本淳	審査委員	国保連合会
21	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	藤本理事	副会長	県予防医学協会
22	神奈川県医師会災害救助対策委員会	小林常務理事	委員	県医師会
23	神奈川県糖尿病対策連絡会及び神奈川県糖尿病対策推進会議幹事会	唐澤理事	幹事	県医師会
24	在宅医療トレーニングセンター研修事業運営協議会	小林常務理事	委員	県医師会
25	日本プライマリ・ケア連合学会神奈川支部	嶋監事 寺師三千彦	幹事 幹事	県医師会
26	神奈川県医療事故調査等支援団体連絡協議会	森井理事	-	県医師会
27	神奈川県在宅歯科医療連携拠点運営事業推進協議会	石井理事	委員	県歯科医師会
28	糖尿病医科歯科連携協議会	唐澤理事	委員	県歯科医師会
29	(公財)かながわ健康財団評議員会	小川会長	評議員	かながわ健康財団

No	審議会等名	委員等	役職名	関係団体
30	(公財)かながわ健康財団がん対策推進会議	伊藤理事	委員	かながわ健康財団
31	健康チャレンジフェアかながわ実行委員会	平井専務理事	委員	かながわ健康財団
32	がん克服シンポジウム実行委員会	大島常務理事	委員	かながわ健康財団
33	神奈川県社会福祉協議会第2・3種正会員連絡会	阿部理事	委員	県社会福祉協議会
34	神奈川県立子ども医療センター地域医療支援事業運営委員会	深澤理事	委員	県立子ども医療センター
35	神奈川県がん診療連携協議会地域連携クリティカルパス部会	唐澤理事	委員	県立がんセンター
36	神奈川県立保健福祉大学を支援する会	泉理事	理事	県立保健福祉大学
37	神奈川県エイズ治療拠点病院等連絡協議会	泉理事	委員	横浜市大付属病院
38	(一財)北里環境科学センター評議員会	竹内理事	評議員	北里環境科学センター

4 会員の表彰

(1) 薬剤師会関係表彰

① 神奈川県薬剤師会

ア 会長賞（個人）（2/14）

辻 晃 木村 重 堀口 雅巳

イ 会長賞（団体）（2/14）

一般社団法人港北区薬剤師会

学校法人都築第一学園 横浜薬科大学

ウ 有功賞（2/14）

秋元 敬子	浅野目 岬子	小田 兵馬	尾上 京子	神林 時中
神原 秀雄	斉藤 克子	櫻木 章子	櫻木 達夫	篠井 静子
鈴木 敏雄	高岡 由美子	長 京子	中村 菊代	野村 佳子
平山 康子	藤田 洋子	星 タツ子	藪本 鐵美	吉田 昭子

計20名

② 日本薬剤師会

ア 有功賞（4/2）

相川 慶子	金子 節子	小林 由紀子	高橋 喜久雄	生井 茅子
西山 世津子	肥田 稔	平山 謙三	堀川 澄子	松下 美那子
矢野 栄子				計11名

(2) 大臣表彰

① 厚生労働大臣表彰

ア 薬事功労（10/21）

花島 邦彦

イ 公衆衛生事業功労（2/25）

橋本 真也

② 文部科学大臣表彰

学校保健及び学校安全表彰（11/7）

岩出 信幸

(3) 神奈川県知事表彰

保健衛生

医療関係功労者（11/27）

大島 崇弘

(4) その他各種表彰

① 神奈川県公衆衛生協会長表彰（11/26）

小林 弘忠

② 日本公衆衛生協会長表彰（2/25）

久保田 充明

③ 学校保健功劳者等表彰 (11/17)

岩井 美枝子 齊藤 祐一 清水 一恵 中村 良夫 宮本 保
山形 光正 山本 浩史

5 厚生労働省、日本薬剤師会等の会議参加状況

(令和7年3月31日現在)

会 議 名	開 催 日	出 席 者
関東・東京ブロック生涯研修認定制度協議会	4月23日	久保田常務理事 花島薬事情報センター長
第2回関東・東京エリア災害対策連絡会	5月22日	平井専務理事 小林常務理事 日向委員長
日薬 関東ブロック会長会議（第1回）〈群馬〉	5月26日	小川会長
日薬 関東ブロック協議会（第1回）〈群馬〉	5月26・27日	小川会長 平井専務理事 久保田常務理事 小林常務理事
日薬 都道府県会長協議会（第1回）	5月29日	小川会長
日薬 緊急避妊薬販売に係る環境整備のためのモデル的調査研究に関する説明会	6月10日	大島常務理事
薬剤師認定制度認証機構定時社員総会	6月17日	小川会長
第32回認定薬剤師認証研修機関協議会	6月17日	小川会長 久保田常務理事 阿部理事
日薬 総会決算委員会	6月28日	後藤副会長
日薬 第104回定時総会	6月29・30日	小川会長 後藤副会長 橋本副会長 佐藤常務理事 久保田常務理事
日本薬剤師会賞等選考委員会	7月16日	小川会長
日薬 都道府県会長協議会（第2回）	7月24日	小川会長
第3回関東・東京エリア災害対策連絡会	7月24日	平井専務理事 日向委員長
第2回関東・東京ブロック生涯研修認定制度協議会	8月30日	久保田常務理事 花島薬事情報センター長
日薬 緊急避妊薬販売に係る環境整備のためのモデル的調査研究に関する説明会	9月10日	大島常務理事
日薬 都道府県会長協議会（第3回）	9月21日	小川会長
第56回日本薬剤師会学術大会（さいたま大会）	9月22・23日	小川会長 平井専務理事
日薬 令和6年度都道府県災害薬事連携推進会議	11月18日	平井専務理事 日向委員長
第4回都道府県会長協議会（会長会）	令和7年1月15日	小川会長

会 議 名	開 催 日	出 席 者
日薬 緊急避妊薬販売に係る環境整備のためのモデル的調査研究に関する説明会	令和7年1月24日	大島常務理事
日薬 関東・東京ブロック会議〈茨城〉	令和7年1月26日	小川会長 後藤副会長 平井専務理事 佐藤常務理事 大島常務理事 小林常務理事
第33回認定薬剤師認証研修機関協議会	令和7年2月1日	久保田常務理事 福嶋理事
日薬 関東ブロック会長会議（第2回）〈栃木〉	令和7年2月2日	小川会長
日薬 関東ブロック協議会（第2回）〈栃木〉	令和7年2月2日	小川会長 橋本副会長 長津副会長 平井専務理事 久保田常務理事 塚本常務理事
関東信越厚生局管内10都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会〈神奈川〉	令和7年2月11日	小川会長、 長津副会長 平井専務理事 佐藤常務理事 小林常務理事 阿部・夏目・福嶋・藤本理事 河野委員長 梶谷・亀山副委員長
日薬 令和6年度学校薬剤師東京・関東ブロック連絡会議	令和7年2月16日	小川会長 後藤副会長 平井専務理事 唐澤・八鍬・藤本・石井理事 和田委員長 大澤・濱地副委員長
日薬 オンライン服薬指導の活用に向けた研修会・担当者会議	令和7年2月19日	藤本理事
日薬 研究推進に関する全国会議	令和7年2月21日	久保田常務理事 花島薬事情報センター長
日薬 令和6年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会	令和7年2月28日	佐藤常務理事
日薬 令和6年度社会保険指導者研修会	令和7年3月7日	夏目理事 亀山副委員長
日薬 第105回臨時総会	令和7年3月15・16日	小川会長 後藤副会長 佐藤常務理事 久保田常務理事

会員の動向

<業種別会員数>

(R7.3.31現在)

区分	薬局				店舗販売業				その他(行政、病院、無職他)					合計					
	I種	II種	賛助	計	I種	II種	賛助	計	I種	II種	III種	賛助	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計
R3年度	2,317	985	191	3,493	32	15	7	54	1	428	44	31	504	2,350	1,428	44	229	10	4,061
R4年度	2,282	954	175	3,411	30	13	6	49	1	406	39	31	477	2,313	1,373	39	212	11	3,948
R5年度	2,230	908	167	3,305	26	13	5	44	1	440	29	30	500	2,257	1,361	29	202	11	3,860
R6年度	2,179	856	158	3,193	23	10	3	36	1	422	27	28	478	2,203	1,288	27	189	9	3,716

[会員種別]

- I 種 : 薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者または薬局・店舗販売業の管理者である薬剤師
- II 種 : 第1種・第3種会員以外の薬剤師
- III 種 : 満77歳以上の無職の薬剤師
- 賛 助 : 非薬剤師の薬局・店舗販売業・卸売販売業の経営者、薬品の製造業及び卸売業・医薬品販売業等の関係者、
本会の目的及び事業に賛同する個人及び企業・団体
神奈川県以外に在住する薬剤師

<入会者・退会者数>

区分	入会者						退会者						差引					
	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計	I種	II種	III種	賛助	名誉有功	計
R3年度	222	97	0	7	0	326	243	163	9	23	2	440	▲ 21	▲ 66	▲ 9	▲ 16	▲ 2	▲ 114
R4年度	243	86	0	12	1	342	288	128	10	29	0	455	▲ 45	▲ 42	▲ 10	▲ 17	1	▲ 113
R5年度	232	102	0	9	0	343	277	124	11	19	0	431	▲ 45	▲ 22	▲ 11	▲ 10	0	▲ 88
R6年度	253	70	0	7	0	330	295	150	6	21	2	474	▲ 42	▲ 80	▲ 6	▲ 14	▲ 2	▲ 144

●県内店舗数と会員店舗数比較

業種	R6.3月		R7.3月		R5.3月		R6.3月	
	県内店舗数	会員店舗数	加入率	加入率	県内店舗数	会員店舗数	加入率	加入率
薬局	4,199	2,220	52.9%	52.9%	4,156	2,269	54.6%	54.6%
店舗販売業	1,567	26	1.7%	1.7%	1,560	31	2.0%	2.0%
卸売販売業	540	73	13.5%	13.5%	556	76	13.7%	13.7%
薬種商販売業	0	0	0.0%	0.0%	1	0	0.0%	0.0%
特例販売業	0	0	0.0%	0.0%	0	0	0.0%	0.0%
配置販売業	143	0	0.0%	0.0%	161	0	0.0%	0.0%
計	6,449	2,319	36.0%	36.0%	6,434	2,376	36.9%	36.9%

※県内店舗数は、神奈川県薬務課発行「薬務行政の概要」による。

●県内薬剤師数と会員数比較 (※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数)

業種	R4.12月	R7.3月		R6.3月	
	県内薬剤師数	会員薬剤師数	加入率	会員薬剤師数	加入率
薬局	16,092	3,037	18.9%	3,141	19.5%
病院・診療所	3,804	63	1.7%	74	1.9%
介護保険老人施設	97	6	6.2%	6	6.2%
大学	160	66	41.3%	65	40.6%
医薬品販売業	1,913	106	5.5%	114	6.0%
行政	409	33	8.1%	34	8.3%
その他業務	397	31	7.8%	29	7.3%
無職・不詳	846	185	21.9%	195	23.0%
計	23,718	3,527	14.9%	3,658	15.4%

※県内薬剤師数は、厚労省「医師・歯科医師・薬剤師統計」による。

※会員薬剤師数は、賛助会員を除く数

事業報告

I 公益事業

1 薬学・薬業の進歩発展に関する事業

(1) 神奈川県薬剤師会学術フォーラムの開催

神奈川県薬剤師会学術フォーラム in ハマヤク ～産学連携～ を横浜薬科大学学園祭と同時開催した。

[神奈川県薬剤師会学術フォーラム in ハマヤク]

会 期：令和6年10月6日（日）9：00～16：30

会 場：横浜薬科大学

主 催：神奈川県薬剤師会

共 催：横浜薬科大学

後 援：神奈川県、横浜市

参加者：205名

内 容：

○特別講演：「生活環境中の真菌（カビ）とヒトへの危害について」

講演者：矢口貴氏（千葉大学 真菌医学研究センター准教授）

○分科会Ⅰ（テーマ：研究）

講演1：医薬品包装、投与容器・デバイスに着目したユーザビリティ評価

講師 村田実希郎氏（横浜薬科大学・薬剤学研究室教授）

講演2：新たな地域医療構想と求められる薬局機能研究

講師 田口真穂氏（横浜薬科大学・レギュラトリーサイエンス研究室准教授）

講演3：大規模副作用データベースを用いた医薬品副作用解析試み

講師 岡田賢二氏（横浜薬科大学・臨床薬剤学研究室教授）

○分科会Ⅱ（テーマ：災害）

講演1：能登半島地震における日薬の対応について

講師 荻野構一氏（日本薬剤師会副会長）

講演2：災害について

講師 柏原宏暢氏（石川県薬剤師会副会長）

講演3：能登半島地震におけるモバイルファーマシーでの医療活動の実態

講師 長嶋大地氏（横浜薬科大学・臨床薬剤学研究室）

講演4：能登半島地震での支援活動から見えてきた課題

講師 日向彰氏（神奈川県薬剤師会災害対策検討委員会委員長）

○会員発表（演題登録数：口頭発表5題、ポスター発表32題）

ア 優秀賞

①口頭発表最優秀賞

・医療用麻薬持続注射療法の弊社従業員向け処方提案アプリの開発による処方箋発行支援

発表者：神山綾香氏（有限会社ひかり薬局）

②ポスター発表最優秀賞

・地域医療のファーストアクセス場である保険薬局の現状～薬剤師と管理栄養士の協働による効果～

発表者：神保亮太氏（株式会社大島薬局）

③ポスター発表優秀賞

・ヒロ薬局の「くすりと健康相談薬局」としての地域への取り組み

発表者：藤倉絵美氏（有限会社ヒロ薬局）

・楽しく学修支援を行う薬学かるた作成の取り組み

発表者：西山空輝氏（湘南医療大学 薬学部 医療薬学科）

○県民公開講座

ぐっすり眠って元気な毎日へ！～今日から始める快眠習慣～

講演者：石川泰弘氏（日本薬科大学医療ビジネス薬科学科特任教授）

○健康測定会

お薬相談、健康測定（血管測定機器、ベジミル、肌年齢計、マインドチェッカー、らくらくウェルネス）、献血推進活動他

○くすりと健康相談薬局・生涯学習認定制度ブース、広報委員会ブース

○起震車展示

(2) 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表

第57回日本薬剤師会学術大会において、公衆衛生・学薬委員会、リスクマネジメント委員会、医療・介護保険委員会が発表を行った。

ア 開催概要

- ・会 期：令和6年9月22日（日）・23日（月・祝）
- ・会 場：大宮ソニックシティ他
- ・主 催：日本薬剤師会／埼玉県薬剤師会
- ・テーマ：彩

イ 発表内容

①口頭発表：

- ・公衆衛生・学薬委員会：

神奈川県立学校における学校環境衛生検査比較調査（平成30年度と令和2年度、令和5年度の比較）

- ・リスクマネジメント委員会

リスクマネジメント委員会が実施したアンケート調査及びプレアボイド報告システムから見えてきたプレアボイドの意義

②ポスター発表：

- ・医療・介護保険委員会

会員の質的向上を目指した(公社)神奈川県薬剤師会医療・介護保険委員会開催の研修会に関する調査報告～地域薬剤師会の存在意義～

(3) 薬学研究への助成

薬学の進歩発展に寄与するため、県内の薬剤師が行う研究に平成24年度から補助金を交付している。

ア 令和6年度薬学研究補助金事業概要

- ・ 募集期間：令和6年5月1日～7月31日
- ・ 補助金額：総額100万円以内

イ 募集状況

- ・ 申請件数：3件

(4) 臨床薬学研究に関する倫理審査

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）に基づき、薬剤師が活動する分野の研究についての倫理審査を実施した。

- ・ 申請件数：3件

(5) 薬学生育成に関する事業

質の高い実務実習教育を実現するため、新規の認定実務実習指導薬剤師を養成するワークショップおよび講習会を開催した。また、認定を受けてから5年以上経過した指導薬剤師を対象に、資格更新のための講習会を神奈川県病院薬剤師会との共催、病院・薬局実務実習関東地区調整機構との共催補助事業として開催した。

ア 認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップの開催

① 第4回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

- ・ 日時：令和6年7月14日（日） 9:00～19:00
令和6年7月15日（月・祝） 9:00～18:00

・ 会場：横浜薬科大学

・ 受講者：54名（薬局35名／病院13名／大学6名）

② 第12回認定実務実習指導薬剤師養成ワークショップ

- ・ 日時：令和6年10月13日（日） 9:00～19:00
令和6年10月14日（月・祝） 9:00～18:00

・ 会場：昭和薬科大学

・ 受講者：54名（薬局31名／病院17名／大学6名）

イ 認定実務実習指導薬剤師養成講習会の開催

① 第4回認定実務実習指導薬剤師養成講習会

- ・ 日時：令和6年7月7日（日） 10:00～14:00

・ 会場：神奈川県総合薬事保健センター

・ 受講者：44名（薬局30名／病院14名）

② 第12回認定実務実習指導薬剤師養成講習会

- ・ 日時：令和6年9月1日（日） 10:00～14:00

・ 形式：web開催（台風の影響により変更）

・ 受講者：57名（薬局38名／病院19名）

ウ 認定実務実習指導薬剤師更新講習会の開催

① 第4回認定実務実習指導薬剤師更新講習会

- ・日 時：令和6年7月7日（日）10:00～11:00
- ・会 場：神奈川県総合薬事保健センター
- ・受講者：40名（薬局20名／病院20名）

② 第12回認定実務実習指導薬剤師更新講習会

- ・日 時：令和6年9月1日（日）10:00～11:00
- ・形 式：web開催（台風の影響により変更）
- ・受講者：24名（薬局10名／病院14名）

令和6年度養成ワークショップ参加者および久しぶりに実習生を受け入れる指導薬剤師、また、実習生受入薬局の薬剤師（指導薬剤師以外）を対象とした、実習の進め方の説明会を開催した。

エ 手引きを用いた実務実習の進め方の説明会

- ・日 時：令和7年2月16日（日）
- ・会 場：神奈川県総合薬事保健センター
- ・参加者：42名（会員37名／一般5名）

本会事業及び日本薬剤師会や関東地区調整機構が発する通達や事業について各地域の実務実習担当者に伝達し、また、地域の問題点や課題を共有、解決することで円滑な実務実習の実施に繋げるため、地域薬剤師会実務実習担当者会議を開催した。

オ 地域薬剤師会実務実習担当者会議

- ・日 時：令和7年3月19日（水）19:00～20:50
- ・内 容：トラブルが起こった際の対処について（SGD）

薬局、病院及び大学のさらなる連携強化を図るため、意思疎通や相互理解を深める情報・意見交換の場として、病院・薬局実務実習関東地区調整機構に委員が所属する大学との懇談会を開催した。

カ 神奈川県薬剤師会・神奈川県病院薬剤師会実務実習担当者と大学との懇談会

- ・日 時：令和7年1月29日（水）19:00～20:30
- ・内 容：「なぜ実務実習でトラブルは起こるのか～トラブルを未然に防ぐために～」
KJ法による問題点の整理（SGD）

キ 神奈川オリジナルアドバンスワークショップ

- ・テーマ、内容等を再度検討することとなり、神奈川オリジナルアドバンスワークショップの運営を検討するアドバンスワークショップ検討会も併せて今年度の開催は中止とした。

(6) 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

「新しい薬局・薬剤師のあり方に係る提言（仮）」を基に検討会を開催した。今年度は、会員一人一人が薬局・薬剤師の進むべき進化の道を自ら考え行動する契機となるよう報告書の

作成に取り組んだ。来年度、完成した「新しい薬局・薬剤師のあり方に係る提言」は、令和7年に開催予定の記念すべき第10回「くすりと健康相談薬局 認定式」にて発表する。

2 児童・生徒等に関する事業

(1) 学校環境衛生管理事業

ア 神奈川県立学校の環境衛生検査

「学校環境衛生基準」に基づき、神奈川県教育委員会から環境衛生検査機器の貸与を受け、次の事業を実施した。

- ・学校環境衛生検査（県立学校全校〈全日制、定時制、通信制、支援学校等〉）
- ・県立学校室内空气中化学物質濃度検査（シックハウス検査 20 校）
- ・県立学校給食調理場定期検査（特別支援学校 29 校）
- ・学校環境衛生検査機器の現物照合、神奈川県教育委員会との打合せ会（8 月 29 日）

イ 検査機器貸出

- ・IAQ モニター 4 台、粉じん計 8 台が新たに貸与された。前期は 27 件、後期は 23 件の貸出があった。

ウ 学校報告書

- ・前期：192 校（全 205 校）
- ・後期：187 校（全 205 校）

※令和 6 年度より全校数に分教室含む

(2) 薬物乱用防止啓発事業の支援

ア 薬物乱用防止啓発教室の開催

神奈川県からの委託事業として、県内の公立及び私立の小学校・中学校・高等学校の児童生徒、教職員、並びに保護者を対象に、薬物乱用防止啓発教室を実施した。本教室は、学校薬剤師が講師を務め、薬物乱用の危険性と予防に関する啓発活動を行った。

区分	令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
高等学校	18	4,413	20	5,466	15	4,986
一貫校	0	0	0	0	0	0
中学校	109	21,170	94	15,723	75	13,248
小学校	258	20,243	234	17,857	195	14,729
PTA等	4	694	3	1,028	2	1,079
計	389	46,520	351	40,074	287	34,042

（令和 7 年 3 月 31 日現在）

(3) 医薬品適正使用教室の推進

ア 知識啓発資材の作製及び購入

中高生向けリーフレット〔図 A〕を 9,500 部増刷し、医薬品適正使用教育の資料として学校薬剤師へ提供した。



図 A：中高生向け教材「ダメ。ゼッタイ。」リーフレットデザイン

(4) 学校保健向上事業

ア 地域薬剤師会学校薬剤師担当者会議の開催

日 時：令和6年5月12日（日）12:00～13:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・学校環境衛生検査について
・薬物乱用防止啓発事業について
・令和7年度第75回全国学校薬剤師大会 in 神奈川について
・意見交換

イ 公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）の開催

日 時：令和6年7月21日（日）14:00～17:05

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・学校環境衛生検査（水質検査・プール検査）、室内プール検査（実技）
講師 濱地優作 氏（みねおか調剤薬局）

ウ 全国学校保健調査の実施

日本薬剤師会が実施している全国学校保健調査は令和5年度から完全 web 化され、地域薬剤師会の協力のもとで実施された。本調査結果は、学校環境衛生の維持・管理に資する参考資料として、毎年文部科学省へ日本薬剤師会から報告を行っている。

期 間：令和6年8月1日～10月31日

対 象：神奈川県内の学校薬剤師

内 容：2023年度の「採光及び照明」について

エ 令和7年度全国学校保健・安全研究大会準備委員会の開催（幹事県）

神奈川県教育委員会が主催する全国学校保健・安全研究大会の準備委員会が次のおり開催された。

① 第1回

日 時：令和6年7月11日（木）9:30～10:30

会 場：神奈川県庁東庁舎 111 会議室

出席者：八鍬理事（代理出席）

内 容：・準備委員会規約
・大会開催要項
・準備委員会事業計画等

② 第2回

日 時：令和6年9月19日（木）11:00～12:00

形 式：web 開催

出席者：小林常務理事

内 容：・課題別研究協議会発表校選定の状況報告
・サブテーマについて
・記念講演について
・準備委員会予算について等

③ 第3回

日 時：令和6年12月6日（金）

形 式：書面会議

内 容：・宿泊業務等委託業者の選定方法（案）について
・サブテーマ（案）について等

④ 第4回

日 時：令和7年3月19日（水）

形 式：書面会議

内 容：・令和7年度全国学校保健・安全研究大会神奈川県実行委員会設立（案）
について等

オ 令和6年度学校薬剤師東京・関東ブロック連絡会議（幹事県）

日 時：令和7年2月16日（日）14：00～18：00

会 場：横浜ベイホテル東急

出席者数：35名

内 容：・学校薬剤師を取巻く最近の話題
・東京・関東ブロックにおける学校薬剤師活動等に関する協議
・第75回全国学校薬剤師大会（神奈川）について

カ 全国学校薬剤師大会実行委員会（幹事県）

日本薬剤師会と神奈川県薬剤師会が主催する全国学校薬剤師大会が、令和7年11月20日に開催される予定である。本会は幹事県として、全国学校薬剤師大会実行委員会の主導のもと、第1回・第2回準備委員会を下記のとおり開催した。

① 第1回

日 時：令和6年5月9日（木）18：30～19：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター（会員サロン）

内 容：特別講演講師の選定等

② 第2回

日 時：令和6年11月26日（火）14：00～15：00

形 式：web開催

内 容：・予算（案）について
・アトラクションの選定について
・広告企業・企業展示・協賛について等

3 医薬品適正使用に関する事業

(1) くすりと健康すこやかフェアの開催

県民に対し医薬品の適正使用など健康な社会づくりの普及啓発を図るため、関係団体との共催により、お薬相談や肌年齢測定などの健康度チェックなどを実施した。

(2024 くすりと健康すこやかフェア)

日 時：令和6年10月17日(木) 10:00～16:00

会 場：横浜新都市プラザ

共 催：神奈川県薬剤師会、神奈川県病院薬剤師会、神奈川県製薬協会、
神奈川県医薬品配置協会、神奈川県栄養士会

後 援：神奈川県、横浜市医療局

内 容：パネル展示、お薬相談、健康測定（血管年齢測定、骨健康測定、肌年齢測定、
野菜摂取度測定）、栄養相談、チラシ・パンフレット配布、医薬品等に関するア
ンケート

実 施：	・血管年齢測定(県薬剤師会)	171件(134件)
	・骨健康測定(県薬剤師会)	138件(128件)
	・肌年齢測定(県薬剤師会)	113件(107件)
	・野菜摂取度測定(県薬剤師会)	130件(-)
	・お薬相談(県病院薬剤師会)	66件(70件)
	・栄養相談(県栄養士会)	34件(25件)
	・アンケート用紙回収	451件(422件)

(2) 薬と健康の週間事業の支援

厚生労働省及び都道府県等が推進する「薬と健康の週間」(10月17日～23日)において、以下の活動を実施した。

- ・厚生労働省及び医薬品医療機器総合機構などが作製したポスターやチラシなどを会員薬局及び各地域薬剤師会へ送付。
- ・かかりつけ薬剤師の普及、医薬品適正使用、セルフメディケーションの推進などの啓発。

(3) 医薬品適正使用関連事業の推進

ア 医薬品適正使用検討委員会の開催

県医師会、県歯科医師会、県病院協会及び県病院薬剤師会との委員会を書面にて開催し、医療・介護保険委員会で調剤報酬改定に基づき見直した「院外処方箋の正しい書きかた」について、協議し啓発を実施した。

日 時：令和6年12月19日(木)

形 式：書面会議

イ 県民向け情報発信事業

- ① YouTube 動画の投稿〔図 B-1、B-2、B-3、B-4〕

薬の正しい飲み方などの動画を神奈川県薬剤師会公式 YouTube チャンネルに投稿した。令和6年度は会員である株式会社ファンケルのご協力のもと、サプリメントに関するアップロード用の動画撮影を実施した。動画撮影会には神奈川県薬剤師会ルーキー会員（仮称）トライアルメンバーも参加。撮影会の様子を神奈川県薬剤師会 SNS で発信し、県民向けに活動の PR も行った。

② 神奈川県薬剤師会学術フォーラム県民公開講座 PR

県民参加を促進するため、PR動画を撮影し、FacebookとInstagramで動画配信を実施した。また、神奈川県薬剤師会学術フォーラムにて神奈薬ほう介（かなやくほうすけ）着ぐるみを活用し、神奈川県薬剤師会のPRを行うとともに県民への公開講座、健康測定会、おくすり相談の参加促進を行った。



図 B-1：令和6年5月14日投稿 YouTube 画像
サプリメント VOL.2 薬剤師直伝！
サプリメントと医薬品みんなが気になる疑問を解決



図 B-2：令和6年9月13日投稿 YouTube 画像
サプリメント VOL.3 薬剤師直伝！
医薬品とサプリ注意すべき飲み合わせは？



図 B-3：令和6年12月12日投稿 YouTube 画像
サプリメント VOL.4 薬剤師直伝！
サプリメント相談先は？お薬手帳の活用法も伝授



図 B-4：令和7年2月17日投稿 YouTube 画像
サプリメント VOL.5 薬剤師直伝！
サプリメント情報収集コツ おすすめサイトを紹介

(4) セルフメディケーションの推進

ア OTC 医薬品副作用情報収集

医薬品等の安全の向上のため、以下の制度について周知活動を実施した。

- ・医薬品・医療機器等安全性情報報告制度
- ・医薬品等の副作用情報報告制度

イ 県民向け啓発グッズの作製

セルフメディケーションの普及・啓発を目的として、各種イベント「くすりと健康相談薬局県下一斉相談週間」などで配布するためのグッズを作製した。

作製したグッズは以下のとおり。

- ・絆創膏（8,000個）《増備》〔図 C-1、C-2〕

- ・セルフメディケーションリーフレット（400部）《増刷》〔図D〕
- ・カレンダー 壁掛けタイプ（7,000部）〔図E〕
- ・啓発ポスター秋バージョン（A2判2,400枚）〔図F〕
春バージョン（A2判2,400枚）〔図G〕



図 C-1：絆創膏パッケージデザイン



図 C-2：絆創膏デザイン



図 D：セルフメディケーションリーフレット表面・裏面



図 E：カレンダー壁掛けタイプ年間用、12枚用



図 F：秋バージョンポスターデザイン



図 G：春バージョンポスターデザイン

ウ 薬剤師向けセルフメディケーション啓発研修会の開催

本研修は、地域住民のセルフメディケーションをサポートする能力を向上させ、薬局薬剤師の職能を充実させることを目的として開催した。「総論編」と「各論編」の2回シリーズで構成されている。

① セルフメディケーション研修会 ～総論編～かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会

日 時：令和6年5月26日（日）14:00～16:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・セルフメディケーションの推進:かかりつけ薬剤師としての新たなステップ

講師 亀山貴康氏（公益社団法人 日本薬剤師会 理事）

・OTC医薬品の取り組み方

講師 市川浩氏（すみれ薬局）

② セルフメディケーション研修会～各論編～

かかりつけ薬剤師スキルアップ講座（薬局製剤編）

日 時：令和7年2月9日（日）12:00～17:20

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・セルフメディケーションに直ぐに役立つ薬局製剤を実際に作ろう！

講師 八木多佳子氏（公益社団法人 日本薬剤師会

薬局製剤・漢方検討会 副委員長）

エ 健康測定機器の実例報告

貸出しを行っている健康測定機器を積極的に活用している薬局の実例を会誌「薬壺」で紹介した。

・2024年 7・8月号掲載：潮見台薬局（川崎市宮前区）

・2025年 1・2月号掲載：新つるみ薬局（横浜市鶴見区）

オ 健康測定機器による健康相談の推進

健康測定機器等の貸出し

県民のセルフメディケーション推進のため、健康測定機器など10機種16台を地域薬剤師会及び会員薬局に貸し出した。今年度は新規に1種1台を追加した。

注記：「くすりと健康相談薬局」に所属する本会会員には、優先的に予約受付期間を設けている。

令和6年度貸出区分別実績

区分	件数
会員薬局	47件
地域薬剤師会	38件
くすりと健康相談薬局	130件
計	215件

（令和7年3月31日現在）

令和6年度貸出機器別実績

機器名	区分	保有台数	貸出台数		計
			会員及び 地域薬剤師会	くすりと健康 相談薬局	
脳年齢・血管年齢・健美瘦チェック器		4	37	41	78
血管年齢計		2	22	31	53
骨健康測定器		2	23	34	57
肌年齢計		2	4	4	8
血圧計		1	2	3	5
環境放射線モニター※		2	0	0	0
心と身体のバランス測定器		2	13	20	33
肌の年齢測定器		2	19	23	42
心血管指標AVI・API&血圧測定		1	5	12	17
認知機能セルフチェッカー		1	7	11	18
ベジミル		1	12	19	31
計		20	144	198	342

※自然物や人工物から放出される放射線測定器

(令和7年3月31日現在)

カ 医薬品登録販売者継続研修（県医薬品登録販売者協会との共催事業）

医薬品医療機器等法に基づき、登録販売者を置く薬局開設者に課せられた法定義務研修である本研修を実施した。

① 第1回 日 時：令和6年6月20日（木）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：130名（会員57名/一般73名）※DVD研修での受講含む

内 容：・この症状、ストレスかも

- ・薬事関係法規・制度、医薬品の適正使用・安全対策、店舗の管理及び区域の管理に関する事項
- ・登録販売者として求められる理念、倫理、関連法規等

② 第2回 DVD研修

受講者：128名（会員55名/一般73名） ※令和6年9月19日現在

内 容：・皮膚の痒み、肌荒れ

- ・一般用医薬品の薬理学

③ 第3回 日 時：令和6年11月13日（水）13:00～16:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：131名（会員56名/一般75名）※DVD研修での受講含む

内 容：・熱だ！風邪かも

- ・全国統一薬事講習会
- ・登録販売者として確認しておきたい最新情報
- ・リスク区分等の変更があった医薬品
(ヒアルロン酸Na点眼薬、ベポスタチン点鼻薬)

④ 第4回 DVD研修

受講者：131名（会員56名/一般75名）

内容：・口の炎症や異常（ビデオ）
・肩こり・筋肉痛、腰痛・関節痛

(5) くすりと健康相談薬局の推進

9月1日付けで新規19件、更新120件（令和3年度認定薬局）、合計139件の薬局を認定し、県内の認定薬局は265薬局となった。

ア 令和6年度くすりと健康相談薬局の認定

申請期間：令和6年5月7日～令和6年5月31日

申請薬局：140薬局

認定薬局：139薬局

認定期間：令和6年9月1日～令和9年8月31日

イ 令和6年度くすりと健康相談薬局認定証交付式の開催

日時：令和6年9月8日（日）13:00～13:50

会場：神奈川県総合薬事保健センター

出席：53薬局

今年度は、当会で貸し出しを行っている健康測定機器を使用した健康イベントの開催を促進するため、健康測定機器体験会を同時に開催した。

ウ チラシ、啓発資材の作製・配布

くすりと健康相談薬局制度の普及を目的とした次の啓発資材を作製した。

- ・くすりと健康相談薬局チラシ 27,000枚《増刷》〔図H〕
- ・認定薬局一覧リーフレット 2,000枚
- ・のぼり（小）80個《増刷》〔図I〕



図H：くすりと健康相談薬局チラシ デザイン



図I：のぼり（小）

エ 県下一斉相談週間の開催

認定薬局で日々行っている相談薬局業務を改めて県民にアピールするため、「県下一斉相談週間」を実施し、地域住民への効果的な情報発信と、薬局利用の促進を図った。

期 間：令和6年11月9日（土）～17日（日）

会 場：県内全認定薬局

内 容：啓発資材を用いたセルフメディケーションの推進

健康測定機器等を利用した健康フェアの開催 等

また、昨年に引き続き、認定薬局が独自に作製したチラシ〔図J〕のポスティングについて、費用の一部を補助する企画を実施した。



図J：独自チラシの例

啓発資材：

- ① 県下一斉相談週間ポスター（300枚、チラシ8,000枚）〔図 K〕
- ② 絆創膏（8,000個）《増備》
- ③ ウェットティッシュ（8,000個）《増刷》〔図 L〕
- ④ カレンダー 壁掛けタイプ（7,000部）
卓上タイプ（7,000部）〔図 M〕



図 K： 下一斉相談週間
ポスター・チラシデザイン



図 L： ウェットティッシュ



図 M： カレンダー卓上タイプ

オ 認定薬局取材記事の会誌への連載

会誌「薬壺」において、認定薬局の取組を紹介するため、認定薬局を取材し、インタビュー記事を掲載した。

- ・第23回 なかいまち薬局（足柄上郡中井町：2024年9・10月号）

(6) 薬事情報センターの充実

医薬品の適正使用や薬害の防止等を推進するため、厚生労働省、日本薬剤師会及び製薬メーカーなどから医薬品や副作用等の情報を収集し、会員や医師、県民などからの医薬品、化学物質、医療保障制度等に関する相談への対応や情報提供などの支援を実施した。

相談薬局件数の推移

- ・令和6年度：960件
- ・令和5年度：783件

4 医療安全に関する事業

(1) 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画

神奈川県・神奈川県医師会・神奈川県病院協会・神奈川県看護協会・神奈川県歯科医師会・神奈川県薬剤師会の計6団体が共催で、同セミナーを次のとおり開催した。

ア 神奈川県医療安全推進セミナーの開催

日 時：令和6年10月12日（土）10：00～12：00

会 場：神奈川県総合医療会館7階講堂（web 併用）

受講者：138名

内 容：・患者安全の全体像と展望

講師 長尾能雅氏（名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部教授）

イ DEM事業

薬局が医薬品の適正使用に一層貢献することを本事業の目的とし、地域の薬局から副作用などの情報を迅速かつ的確に収集するための基盤整備を目指している。日本薬剤師会が主導するDEM（Drug Event Monitoring）事業に協力し、DEM事業報告用ウェブページの更新するとともに、日本薬剤師会から送付された資材を会員薬局へ配布した。

(2) 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業

医薬品の過剰使用（オーバードーズ）防止対策として啓発動画を作成し、薬局における患者とのコミュニケーションツールの一環として活用する。また、地域のイベント等で広く活用を促すため、神奈川県薬剤師会公式YouTubeチャンネルへ投稿し周知を図った。[図N]



図N：薬の過剰摂取（オーバードーズ）のリスク
令和7年3月31日投稿 YouTube 画像

(3) 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進

多重受診防止対策として、保険者から給付制限された患者などの情報について、リスクマネジャーを通じて薬局に情報提供することにより再発防止を図る。また、処方箋偽造を行使した患者の情報についても同様に情報提供を行い、再発防止を図った。

ア 多重受診に関する情報の周知

イ 多重受診等に関する情報提供：

- ・多重受診 86件
- ・処方箋等偽造 11件

(4) 高度管理医療機器等継続研修会の開催

医療機器の品質管理及び安全性確保のため、医療機器販売業務に従事する管理者等は毎年継続的な研修の受講が義務付けられている。これを踏まえ、本会では日本薬剤師会との共催による研修会を開催した。

会 期：令和7年2月3日（月）～2月10日（月）の8日間〈実施〉

形 式：web開催（日本薬剤師会提供のコンテンツによるオンデマンド配信）

受講者：984名（会員764名/一般220名）

(5) 薬害関連資料収集検討

薬害の起こらない安全な社会を目指し、過去の薬害事例から学ぶことの重要性を認識するため、令和4年度に購入した薬害関連書籍の紹介記事を薬壺3・4月号に掲載した。

5 公衆衛生に関する事業

(1) 献血事業への協力、推進

献血事業を推進するため、神奈川県赤十字血液センターと協力し、トライアルメンバーとともに献血への協力を呼びかけて献血の大切さを積極的に周知した。

ア 第1回 日時：令和6年10月6日（日）10：00～16：00

会場：横浜薬科大学（神奈川県薬剤師会学術フォーラム in ハマヤク）
（再掲）(P17 参照)

献血者：58名

イ 第2回 日時：令和7年2月9日（日）10：00～16：00

会場：JR桜木町駅前広場

献血者：50名

(2) 薬物乱用防止の啓発

ア 街頭キャンペーン

① 令和6年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン

日時：令和6年7月3日（水）15:00～15:45

会場：横浜新都市プラザ

主催：薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県、神奈川県薬剤師会

② 令和6年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン

・日時：令和7年1月13日（月・祝）11:10～12:10

・会場：JR新横浜駅北口東広場（横浜市営地下鉄側）及びペDESTリアンデッキ

・主催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

イ 街頭キャンペーン啓発資材作製

県民向けに薬物乱用防止及び薬物の危険性の周知を図るため、啓発資材としてボールペン〔図0〕10,000個を作製し、薬と健康の週間事業やくすりと健康すこやかフェア等で配布した。



図0：ボールペンデザイン

ウ 県民向け薬物乱用防止啓発資材作製

薬物乱用防止啓発リーフレットを4,000部増刷。〔図P〕



図P：薬物乱用防止啓発リーフレットのデザイン



エ 県民向け薬物乱用防止啓発ツールの作成

学校薬剤師が薬物乱用防止教室等で使用するためのパワーポイント（小学生用・中学生用）を作成し、ホームページに掲載した。

オ 公衆衛生研修会（薬物乱用防止編）

日 時：令和6年5月12日（日）14:00～16:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・2023年度神奈川県立学校における環境衛生検査の実施状況報告

講師 濱地優作 氏（公衆衛生・学薬委員会副委員長）

・薬物乱用防止教室の質の向上

講師 田口真穂 氏（横浜薬科大学准教授）

カ アンチ・ドーピング対策

アンチ・ドーピング活動推進のため、スポーツファーマシスト推進担当者及び地域薬剤師会等への情報提供の一環として、日本薬剤師会発行「2024年版薬剤師のためのアンチドーピング・ガイドブック」の購入の取りまとめを行い、スポーツファーマシストの知識向上を図った。

（3）公衆衛生向上事業

ア 公衆衛生研修会（災害時編）

日 時：令和6年11月10日（日）14:00～15:40

形 式：web開催

内 容：災害時のトイレ対策と環境衛生

講師 加藤篤氏（NPO法人日本トイレ研究所代表理事）

イ 新興感染症対策に関する研修会

日本薬剤師会からの実施要請がないため、実施を見送った。

（4）かながわ健康財団等事業への参画

ア 健康チャレンジフェアかながわ2024

神奈川県内の専門職団体が「健康寿命延伸に向けてセルフケアに基づく健康づくりの実践活動普及」を目的に企画されたイベントに、実行委員会の構成メンバーとして負担金を拠出した。

・日 時：令和6年11月23日（土・祝）12:00～16:00

・会 場：横浜新都市プラザ

・主 催：かながわ健康財団

イ 薬物クリーンかながわ推進会議

①令和6年度「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン（再掲）（P33参照）

・日 時：令和6年7月3日（水）15:00～15:45

・会 場：横浜新都市プラザ

・主 催：薬物クリーンかながわ推進会議、神奈川県、神奈川県薬剤師会

②令和6年度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン（再掲）（P33参照）

・日 時：令和7年1月13日（月・祝）11:10～12:10

- ・会 場：J R新横浜駅北口東広場（横浜市営地下鉄側）及びペDESTリアンデッキ
- ・主 催：神奈川県、横浜市、薬物クリーンかながわ推進会議

ウ かながわ青少年社会環境健全化推進会議

社会環境健全化推進街頭キャンペーンへの参加

- ① 横浜会場・日 時：令和6年7月14日（日） 17：00～18：00
 - ・会 場：新横浜駅
 - ・派遣人数：3名
- ② 川崎会場・日 時：令和6年8月7日（水） 17：00～18：00
 - ・会 場：JR 武蔵小杉駅北口駅前広場
 - ・派遣人数：0名
- ③ 横浜会場・日 時：令和6年11月27日（水） 17：00～18：00
 - ・会 場：新横浜駅
 - ・派遣人数：1名
- ④ 川崎会場・日 時：令和6年12月4日（水） 17：00～18：00
 - ・会 場：JR 武蔵小杉駅北口駅前広場
 - ・派遣人数：1名

6 地域医療に関する事業

(1) 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進

県民の医療や介護の需要がさらに増加することが見込まれるため、地域における医療・介護の関係機関と連携して、次の事業を実施した。

ア 薬剤師向け支援事業

在宅医療研修会の開催

日 時：令和6年12月1日（日）13:00～15:10

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・令和6年度改定から見える在宅医療において薬剤師が求められていること

講師 長沼寿志 氏（ひなた薬局林店）

・(SGD) 在宅患者へのかかわり方や多職種連携の検討

講師 林成昭 氏（あおぞら薬局）

イ 在宅医療・介護連携を行う多職種機関への支援事業

在宅医療支援薬局リストの作製

令和6年度神奈川県社会福祉協議会第2種・第3種正会員連絡会

活動推進支援事業助成により、次のとおり冊子を作製し配付した。[図 Q]

作製数：3,100冊

登録薬局数：1,091薬局（令和6年7月現在の申請薬局）

配布先：在宅療養支援診療所、訪問看護ステーション等



図 Q：在宅医療支援薬局リスト
表紙デザイン

ウ 在宅医療支援薬局ステッカー作製

在宅医療を推進するため、ステッカーを作製し在宅医療推進薬局リスト掲載薬局へ配付した。[図 R]

作成数：1,500枚



図 R：在宅医療支援薬局ステッカー
デザイン

エ 認知症対応力向上研修会の開催

日 時：令和6年9月29日（日）13:00～17:00

形 式：web開催

内 容：① 「第9期かながわ高齢者保健福祉計画」について

講師 中西雅子 氏

(神奈川県福祉子どもみらい局福祉部高齢福祉課高齢福祉グループ保健師)

- ② 認知症疾患への早期対応について
講師 秋山治彦 氏（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター臨床研修部部長）
- ③ 認知症当事者として感じること
講師 松浦謙一 氏（かながわオレンジ大使）
- ④ パネルディスカッション「困った事例・対応した事例など」
座 長：堀川壽代 氏（光荣堂薬局）
パネリスト：三橋良博 氏（認知症の人と家族の会神奈川県支部副代表）
新堀智子 氏（新つるみ薬局）
澤田弘之 氏（柴胡会ちゅうおう薬局）
アドバイザー：秋山治彦 氏、松浦謙一 氏

新 オ 薬局を通じたうつ病啓発活動

神奈川県と武田薬品工業株式会社が令和元年9月6日に締結した「神奈川県における地域医療の充実及び医療費の適正化の推進に係る連携・協力に関する協定」に賛同し、「うつ病」に対する正しい理解・普及啓発を行い、神奈川県民のこころのケアをサポートすることを目的として「薬局を通じたうつ病啓発活動」を実施した。

参加薬局に対し啓発資材を送付、また薬剤師を対象とした「心のサポーター養成研修」を実施した。

参加薬局：128 薬局

カ お薬に関する出前講座への講師派遣

医薬品の正しい使い方や副作用が出たときの対応など、お薬全般について分かりやすく説明をする「お薬の基礎知識に関する出前講座」を神奈川県から委託を受け、以下に薬剤師を講師として派遣した。

派遣先：30 団体 30 件

派遣人数：30 名

参加者数：698 名

キ 神奈川県介護支援専門員（ケアマネジャー）実務研修への協力

神奈川県が主催する神奈川県介護支援専門員研修において、本会から推薦された医療・介護保険委員会の委員が専門研修課程の一部を担当し、介護支援専門員の育成に貢献した。具体的には、以下の機関に薬剤師を講師として派遣した。

〈派遣先機関及び回数〉

- ・介護の未来 4回（7月3日～8月28日、7月17日～7月29日、1月8日～1月29日、1月9日～3月24日、）
- ・神奈川県社会福祉協議会 3回（8月21日～9月11日、9月12日～10月2日、1月～2月）

(2) 薬・薬連携の強化と相互の資質向上

ア 薬薬連携情報交換会

薬薬連携を通じて、神奈川県病院薬剤師会との相互関係の理解を深め、薬薬連携合同セミナーや褥瘡治療薬サミットなどの共催事業の充実を図るため会議を開催した。

日 時：令和6年7月30日（火）19:30～20:30

形 式：web 開催

イ 神奈川県病院薬剤師会との合同研修会の開催

① 薬薬連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会との合同セミナー

日 時：令和6年12月16日（月）19:30～21:00

形 式：web 開催

内 容：・講演 テーマ：地域薬薬連携機能向上に係る取り組み

（藤沢市）

- ・藤沢市における薬薬連携、情報共有の現状（病院薬剤師の立場から）

講師 佐藤大祐 氏（藤沢市民病院）

- ・藤沢市における薬薬連携、情報共有の現状（薬局薬剤師の立場から）

講師 露木聡史 氏（藤沢薬剤師会薬局）

（横浜市鶴見区）

- ・連携強化のためのトレーニングレポート推進と向上にむけた取り組み

講師 大幸淳 氏（済生会横浜市東部病院）

- ・地域連携薬局向上事業 事例から学ぶ服薬情報提供

講師 松島大輔 氏（田辺薬局）

- ・シンポジウム テーマ：薬薬連携機能推進にむけて地域で出来ること

座 長：神奈川県病院薬剤師会 業務検討委員会 稲葉健二郎

神奈川県薬剤師会 医療・介護保険委員会 河野一規

シンポジスト：佐藤大祐 氏（藤沢市民病院）

大幸淳 氏（済生会横浜市東部病院）

露木聡史 氏（藤沢薬剤師会薬局）

松島大輔 氏（田辺薬局）

② 褥瘡治療薬サミット in かながわ 2024 の開催

日 時：令和6年10月27日（日）13:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・褥瘡治療を限られた薬剤で円滑に進めるための外用薬治療

～フルタ・メソッド～

講師 古田勝経 氏（医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター）

- ・薬剤師に知ってほしい褥瘡予防とスキンケア

講師 飯田純一 氏（済生会横浜市南部病院 入退院支援センター）

- ・（実習）6種類の褥瘡外用薬と1種類の創傷被覆材の組み合わせで、省力化したガーゼ交換で効率的に褥瘡を治すフルタメソッド

講師 古田勝経 氏（医療法人愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター）

(3) 後発医薬品の使用促進

ア 県民向け使用促進

後発医薬品の使用促進について、ホームページで情報を発信した。

(4) 医薬分業の質的向上

適切な保険請求を実施するため、調剤報酬に関する情報を収集・共有した。

ア 診療報酬に関する三者懇談会

日 時：令和6年8月31日（土）15:00～17:00

会 場：社会保険診療報酬支払基金神奈川支部

イ 保険指導薬剤師打合せ会の開催

調剤報酬に関する情報を収集・共有し、会員薬局に提供することで適切な保険請求を実施することを目的に、保険指導薬剤師による打合せ会を開催した。

日 時：令和6年9月5日（木）18:30～20:00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：個別指導の事例研究

ウ 行政指導への立会等について

関東信越厚生局の依頼により、関東信越厚生局及び神奈川県による社会保険医療担当者の新規・個別指導、集団的個別指導へ立ち会った。

エ 10 都県薬剤師会社会保険担当者連絡協議会（幹事県）

関東信越厚生局管内 10 都県の薬剤師会社会保険担当者による連絡協議会を開催した。

日 時：令和7年2月11日（火・祝）13:30～16:00

会 場：崎陽軒本店

オ 薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会の開催

（旧名称：保険薬剤師のための保険研修会）

日 時：令和6年9月8日（日）14:00～17:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

内 容：・薬学的思考をのばす対人業務について

講師 渡辺美穂 氏（二子薬局都筑店）

- ・(SGD) 服薬指導の実践及び薬剤服用歴管理指導簿・服薬情報提供書の作成
進行 渡辺美穂 氏（二子薬局都筑店）

カ 保険調剤の正しい理解のための研修会の開催

日 時：令和6年6月30日（日）13:00～15:35

形 式：web 開催

内 容：・保険調剤に関する喫緊の課題について

講師 吉田匡志 氏（ガーデン薬局）

- ・調剤審査における指摘事項について

講師 福嶋仁 氏（神奈川県国民健康保険診療報酬審査委員会委員）

- ・法的根拠から考える薬局がしなくてはならない事・してはならない事

講師 中原茂之 氏（平本薬局）

キ 社会保険指導担当者会議の開催

保険調剤の算定要件を理解し適切な保険請求の実施並びに理解に資するために、地域薬剤師会の社会保険担当者を対象に伝達講習を開催した。

日 時：令和6年5月16日（木）19:00～20:30

形 式：web開催

内 容：・令和6年度調剤報酬改定等の概要について

講師 河野一規 氏（医療・介護保険委員会委員長）

- ・①医療DXの推進、②地区薬剤師会での対応事項

講師 亀山俊 氏（医療・介護保険委員会副委員長）

- ・令和6年度調剤報酬改定について～日本薬剤師会が目指したもの～、令和6年度介護報酬改定について

講師 梶谷浩義 氏（医療・介護保険委員会副委員長）

ク 保険薬局ハンドブックの作製・送付

令和6年度調剤報酬の改定に伴い、保険薬局ハンドブックの改訂を行った。[図S]

改訂版のハンドブックは以下のとおり配布・販売した。

- ・会員薬局への配付：全会員薬局に無償。
- ・一般販売：希望者に対して有償で販売。
- ・作製部数：2,400冊

図S：2024 保険薬局ハンドブック
表紙デザイン



ケ 診療報酬の適正な保険事務の推進（隔年実施）

会員の調剤報酬・介護報酬改定に関する疑問解消、および『保険薬局ハンドブック』や『院外処方箋の正しい書きかた』の編集への活用を目的として、ホームページで質問を受け付け、医療・介護保険委員会が中心となって回答を行った。

- ・実施期間：令和6年6月3日（月）～6月16日（日）
- ・問合せ件数：34件



コ 神奈川県保健医療計画に係る検討

本計画において、災害薬事コーディネーターの役割が明確化された。具体的には、「災害薬事コーディネーターは、被災地における医薬品等や薬剤師の配置、薬事・衛生面に関する情報の把握およびマッチング等を行う薬剤師」と定義された。この定義により、災害時における薬剤師の具体的な役割と責任が明確になったが、再来年度に予定されている中間見直しに向け、引き続き検討を進める。

サ 薬剤師資格証（HPKI）の交付事業

令和5年4月からオンライン資格確認等のシステムの導入が原則として義務化されたことを受け、電子処方箋の運用に必要な薬剤師資格証（HPKI）の交付を日本薬剤師会と連携して実施した。

- ・令和6年度交付数：272件

シ オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会の開催

日本薬剤師会提供コンテンツを使用し、オンライン配信形式で研修会を実施した。

日 時：令和6年11月18日（月）12:00～11月25日（月）23:59

形 式：オンデマンド配信

内 容：・オンライン診療の適切な実施に関する指針と緊急避妊薬の調剤について

・オンライン診療に伴う緊急避妊薬処方上の留意点

・オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤について

受講者：1,837名（会員478名/一般1,359名）

(5) 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援

外国籍県民が一般用医薬品を購入する際の支援として、以下の多言語による情報提供を行った。

・「外国籍県民のための服薬情報提供文書」

・「外国籍県民向け一般用医薬品販売対応マニュアル」

・「多言語音声翻訳アプリ（VoiceTra）」及び「多言語医療問診票」

(6) 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実

地域薬剤師会及び職域薬剤師会が実施する公益目的事業に対し、経費の一部を補助する公益目的事業補助金を交付した。

なお、令和6年度の先導的事业については、地域薬剤師会からの申請がなかったため、委託金の交付はなかった。

公益目的事業補助金：18地域・職域薬剤師会 交付決定額：21,768,000円

先導的事业委託金：なし

(7) 健康サポート薬局関連事業の推進

「医薬品医療機器等法施行規則の一部を改正する省令」および健康サポート薬局の基準告示（平成28年2月 厚生労働省）に基づき、日本薬剤師会と連携して研修事業を実施した。令和6年度末時点の神奈川県内健康サポート薬局登録数は195薬局。

① 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）

日 時：令和6年7月28日（日）9:00～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：60名（会員42名/一般18名）

内 容：・健康サポート薬局の基本理念《DVD》

・健康サポート薬局の理念 ～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師

・神奈川県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待

・多職種や保険者など神奈川県内における取組事例

・神奈川県内の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源他

② 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）

日 時：令和6年7月28日（日）14:00～18:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：53名（会員31名/一般22名）

内 容：・健康サポート薬局の理念～健康情報拠点としての覚悟～
・一般用医薬品等を取り巻く現状
・薬局利用者の状態把握と販売時と販売後の対応（演習）ほか

③ 健康サポートのための多職種連携研修（技能習得型研修・研修会A）

日 時：令和6年12月15日（日）9:30～13:30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：24名（会員13名/一般11名）

内 容：①と同様

④ 健康サポートのための薬剤師の対応研修（技能習得型研修・研修会B）

日 時：令和6年12月15日（日）14:00～18:40

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

受講者：11名（会員4名/一般7名）

内 容：②と同様

7 災害時医療救護活動に関する事業

(1) 災害時優先携帯電話を使用した訓練の実施

災害発生時における各地域薬剤師会との迅速な連携及び的確な初動体制の確保を目的として、災害時優先携帯電話を活用した通信訓練を実施した。

- ・訓練名称：災害時優先携帯電話通信訓練
- ・実施期間：令和6年12月9日～12月13日
- ・訓練内容：各地域薬剤師会の担当者が所持する災害時優先携帯電話を用いて、通信状況の確認や連絡体制の確認を行った。

(2) 災害用備蓄品の整備

災害時における対策活動を迅速かつ円滑に実施するため、以下の取り組みを行った。

ア 必要な資機材・生活必需品等の定期的な確認

- ・会館内に資機材・生活必需品等が適切に配置されているかを定期的に確認した。
- ・在庫状況を把握し、不足分については随時補充を行った。

イ 災害対策用備蓄品の更新

- ・使用期限が到来した生活用品類について、速やかに入れ替えを実施した。

<災害用備蓄品整備一覧表> (令和7年3月31日現在)

NO	種別	内容等 () 内は数量
1	飲料水	ミネラルウォーター500ml (600)
2	食品	レトルト白米 (70)、五目御飯類 (650) 缶詰め類 (168) 缶入りベーカリーパン (72)
3	厨具用品類	カセットガスコンロ (2)、カセットガスボンベ (750) 鍋 (2)、柄杓 (2)、やかん (2)、スチロール食器 (200) 割箸 (300) スプーン (300) 発熱剤 (200)
4	生活用品類	生理用品 (858)、紙パンツ (102)、非常用トイレ (500) トイレトペーパー (60) ウェットティッシュ (60)
5	寝具類	毛布 (110)、折り畳み式ベッド (23)、寝袋 (20)、
6	防寒用品類	保温アルミシート (100)、使い捨てカイロ (300) カセットガストーブ (4)
7	電灯・ラジオ等	手回し充電懐中電灯 (49) 乾電池式懐中電灯 (2) ペンライト (30) スタンドライト (2) クリップライト (3) ラジオ (乾電池手回し充電併用) (1) ハンドスピーカー (1)
8	医療用品類	救急キット (43)、サージカルマスク (6,000) ディスポーサブル手袋 (9,500)、担架 (1)
9	機材・工具等	簡易カセットガス発電機 (3)、揚水用手動ポンプ (1)、 工具セット (1) 軍手 (144) 吸水性土嚢 (50)、ソーラー発電機一式 (1) カッター (4)、ドラム式延長コード (3) ホワイトボードマーカ用透明シート (20) 防災ヘルメット (30)

(3) 災害時対応の整備

災害発生時における薬剤師の役割を強化を図り、被災者の健康保護および公衆衛生活動への効果的な貢献を目指して、様々な対応方法の体制整備を進めた。具体的には、外部団体が主催する研修会への参加や、県レベルの総合防災訓練への参画を通じて、知識と実践的スキルの向上に努めた。

ア 令和6年度第1回災害薬事コーディネーター養成研修会

日 時：令和6年7月21日（日）9:00～17:00

会 場：ホテルプラザ菜の花

主 催：千葉県健康福祉部薬務課

内 容：演習1「我が国の災害医療提供体制」

演習2「災害時の初動と共通言語」

演習3「本部での調整活動」

演習4「状況把握と資源の再配分」

イ 災害時医療救護活動研修会

日 時：令和6年9月12日（木）13:30～17:30

形 式：web 開催

内 容：・神奈川県災害時保健医療救護体制

講師 神奈川県

・医療従事者のための地震学

講師 大木聖子 氏（慶應義塾大学環境情報学部准教授）

・解説：災害医療とは

講師 山崎元靖 氏（神奈川県医務担当部長）

・被災地における実際の医療救護活動

講師 中山祐介 氏（横浜市立みなと赤十字病院）

・災害時における歯科医療保健活動

講師 森山孝 氏（公益社団法人神奈川県歯科医師会災害時対策・警察歯科委員会、森山デジタルクリニック）

ウ 令和6年度大規模地震時医療活動訓練

日 時：令和6年9月28日（土）7:00～16:00

会 場：神奈川県庁舎

内 容：DMATの参集・活動訓練、地域医療活動訓練、広域医療搬送訓練

エ 「神奈川県災害時保健医療救護計画（案）」への意見提出について

神奈川県による、大規模災害時の保健医療活動について定めた「神奈川県保健医療救護計画」（令和2年10月改定）の改定案である「神奈川県災害時保健医療救護計画（案）」への意見募集に対して、薬剤師の位置づけ・役割等に関する意見提出を行った。

Ⅱ 法人事業

1 法人組織運営に関すること

(1) 総会、理事会等開催など

ア 総会、理事会、常務理事会、正副会長会、地域・職域薬剤師会会長協議会、監査会等の各会議を開催した。また、総会運営に必要な事項を決定するため、総会議事運営委員会を開催した。さらに、会長候補者及び副会長候補者選挙並びに令和7年6月開催予定の令和7・8年度理事及び監事選挙の選挙運営に必要な事項を決定するため、役員選挙管理委員会を開催した。

イ 春秋会を4月11日に開催し、名誉会員、有功会員、相談役との意見交換や墓参会、懇親会等を通じて、会員間の交流を深め、本会の歴史と伝統を尊重する機会を設けた。

ウ 令和7・8年度を任期とする会長候補者及び副会長候補者選挙の実施については、令和7年2月7日に選挙を告示し、同日より立候補受付を開始、2月21日に受付を締め切った。その後、3月9日に開催された総会においてに会長候補者及び副会長候補者が選出された。任期は、令和7年6月22日の通常総会終了後から令和9年6月の通常総会終了時までとした。(P2-P3 参照)

エ 代議員選挙管理委員会については、補欠の代議員の退任がなかったため、選挙運営の必要がなく、委員会の開催がなかった。

オ 神奈川県薬剤師会の委員会委員と日薬委員との意見交換会については、今後は委員長会議と併せて開催することとなったため、単独開催は見送ることとなった。

カ 神奈川県薬剤師会会長賞等表彰式及び受賞者祝賀会

日 時：令和7年2月14日（金）12：00～13：30

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：30名（内受賞者10名）

キ 神奈川県薬業団体新年賀詞交換会

日 時：令和7年1月10日（金）15：00～16：30

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：118名

ク 神奈川県三師会役員連絡協議会

本年度は、医師会が当番となり次のとおり開催された。

日 時：令和6年9月6日（金）17：00～18：45

会 場：ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル

出席者：72名（本会22名/医師会26名/歯科医師会24名）

内 容：① 大規模災害時の対応について（基調発言）

・大規模災害時における本会の対応について

講演者：金子守男氏（神奈川県歯科医師会副会長）

・大規模災害時における災害薬事コーディネーターの役割

講演者：小林弘忠 氏（神奈川県薬剤師会常務理事）

- ・災害医療体制整備のあゆみ

講演者：久保田毅 氏（神奈川県医師会理事）

② 令和6年度診療報酬改定について（基調発言）

- ・歯科診療における医師、薬剤師との連携について

講演者：山畑智也 氏（神奈川県歯科医師会常務理事）

- ・長期収載品の選定療養について

講演者：藤本直樹 氏（神奈川県薬剤師会理事）

- ・2024年診療報酬改定を振り返る～医歯薬連携と気になること～

講演者：藤倉寿則 氏（神奈川県医師会理事）

（2）組織強化と財務の健全化

ア 公益法人運営特別会費の検討

令和4年6月に会長より諮問を受け、第2次公益法人運営特別会費検討委員会にて5回の議論を経て、会費は現行どおり県薬会費と特別会費とすること、県薬会費と特別会費について物価上昇分を加味した値上げ（“ワンコイン・アップ作戦”）を行うこと等、6つの提言をまとめ、令和6年8月に会長宛てに答申書を提出した。

イ 公益法人制度への対応

公益社団法人としての定期提出書類「令和5年度事業報告」「令和7年度事業計画」及び、令和6年度通常総会での定款変更に伴う関係書類を神奈川県公益法人認定委員会へ提出し、受理された。また、令和7年4月1日から新しい公益法人制度が施行されることに伴い、外部理事及び外部監事の対応について神奈川県文書課に確認を行った。

ウ 日本薬剤師会会費の徴収を行うため、同会と事業連携協力に関する覚書を同会と締結した。

エ 神奈川県薬剤師会会員増強対策として、令和5年度保険薬局分担金の納入があった保険薬局97店舗に令和5年度事業報告書を送付し、礼状とともに本会の事業案内を行い、入会促進を図った。

オ 関東圏内の薬学部4年生から卒後3年の薬剤師を対象とした「神奈川県薬剤師会ルーキー会員（仮称）トライアルメンバー（以下、トライアルメンバー）」の追加募集を行い、各委員会協力のもと、トライアルメンバーへ委員会体験や研修会参加の案内等を行った。組織会員委員会委員が活動状況を視察したほか、トライアルメンバーにアンケートを実施し、感想や意見等の情報収集を行った。また、トライアルメンバー交流会の実施によりコミュニケーションを図り、トライアルメンバー卒業予定者に向けて本会活動のPRを行うなど、更なる入会促進に努めた。（※トライアルメンバー登録者85名（内、ルーキーメンバー継続者81名、卒業予定者4名）

① 第1回トライアルメンバー交流会

日 時：令和6年4月14日（日）10：30～13：30

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

- 内 容：・神奈川県薬剤師会事業説明
- ・トライアルメンバー参加体験発表
 - ・ランチョンセミナー（先輩薬剤師トーク、ルーキー会員（仮称）について）
 - ・(SGD)『薬学生・薬剤師として今思うこと』

② 第2回トライアルメンバー交流会

日 時：令和6年12月1日（日）13：00～16：00

会 場：神奈川県総合薬事保健センター

- 内 容：・健康測定機器体験
- ・ケーススタディ「薬局トラブル対応事例集」
 - ・懇親会



第1回トライアルメンバー交流会



第2回トライアルメンバー交流会

令和年6度トライアルメンバーの研修会・委員会体験等参加実績（令和7年3月31日時点）

No.	実施日	実施内容・詳細	区分	参加実績
1	2024/4/14	令和6年度第1回トライアルメンバー交流会	交流会	19
2	2024/4/23	第1回緑区薬剤師会臨床学研修会	研修会	0
3	2024/5/12	公衆衛生研修会（薬物乱用防止編）	研修会	0
4	2024/5/13	第13回川崎市薬剤師会症候学研修会～ケースワークに挑戦～	研修会	0
5	2024/5/26	セルフメディケーション研修会～総論編～ かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会	研修会	3
6	2024/5/26	神奈川県薬剤師会研修会	研修会	0
7	2024/6/2	第4回薬剤師倫理研修会	研修会	0
8	2024/6/30	保険調剤の正しい理解のための研修会（web開催）	研修会	1
9	2024/7/3	「ダメ。ゼッタイ。」普及運動街頭キャンペーン	委員会体験	0
10	2024/7/10	第2回緑区薬剤師会臨床学術研修会（web開催）	研修会	0
11	2024/7/16	第14回川崎市薬剤師会症候学研修会	研修会	1
12	2024/7/18	第1回都筑区薬剤師会研修会（web開催）	研修会	0
13	2024/7/21	公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）	研修会	0
14	2024/7/25	湘南東地域薬剤師会協議会研修会	研修会	0
15	2024/7/31	YouTube動画撮影会	委員会体験	3
16	2024/8/25	第5回薬剤師倫理研修会	研修会	0
17	2024/9/8	薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会 ※「保険薬剤師のための保険研修会（実践編）」より変更	研修会	0
18	2024/9/8	くすりと健康相談薬局認定式見学・健康測定機器お手伝い	事業体験	4
19	2024/9/10	第15回川崎市薬剤師会 症候学研修会	研修会	1
20	2024/9/20	第17回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	研修会	0
21	2024/9/29	認知症対応力向上研修会	研修会	0
22	2024/10/6	神奈川県薬剤師会学術フォーラム in ハマヤク	学術大会	0
23	2024/10/16	瀬谷区薬剤師会研修会	研修会	0
24	2024/10/17	薬剤師向け多文化対応力向上研修会	研修会	0
25	2024/10/17	2024くすりと健康すこやかフェアお手伝い	委員会体験	1
26	2024/10/27	褥瘡治療薬サミットinかながわ2024	研修会	0
27	複数	令和6年11～3月委員会見学詳細	委員会見学	1
28	2024/11/7	済生会神奈川県病院 外来がん化学療法連携合同研修会（神奈川）	研修会	0
29	2024/11/7	県下統一調剤事故防止研修会（海老名）	研修会	0
30	2024/11/8	県下統一調剤事故防止研修会（保土ヶ谷）	研修会	0
31	2024/11/10	公衆衛生研修会（災害時編）	研修会	0
32	2024/11/15	県下統一調剤事故防止研修会（栄・港南）	研修会	0
33	2024/11/16	県下統一調剤事故防止研修会（鶴見）	研修会	0
34	2024/11/17	第6回薬剤師倫理研修会	研修会	0
35	11/18～11/25	オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会	研修会	0
36	2024/11/21	県下統一調剤事故防止研修会（藤沢）	研修会	0
37	2024/11/28	第16回川崎市薬剤師会症候学研修会	研修会	1
38	2024/11/28	県下統一調剤事故防止研修会（厚木）	研修会	0
39	2024/12/1	第2回トライアルメンバー交流会	交流会	11
40	2024/12/1	在宅医療研修会	研修会	0
41	2024/12/4	県下統一調剤事故防止研修会（伊勢原・秦野）	研修会	0
42	2024/12/5	県下統一調剤事故防止研修会（茅ヶ崎寒川）	研修会	0
43	2024/12/7	薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～	研修会	0
44	2024/12/11	県下統一調剤事故防止研修会（座間）	研修会	0
45	2024/12/13	感染症対応研修会（鶴見）	研修会	0
46	2024/12/15	健康サポート薬局に係る技能習得型研修（研修会A・B）	研修会	0
47	2024/12/16	薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー	研修会	0
48	2024/12/17	神奈川県統一調剤事故防止研修会（横須賀）	研修会	0
49	2024/12/20	第18回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	研修会	0
50	2024/12/22	神奈川県薬剤師会講師派遣事業研修会/第1回海老名市薬剤師会学術 研修会/第3回緑区薬剤師会研修会/湘南東地域薬剤師会協議会研修会	研修会	0
51	2025/1/13	度薬物乱用防止「成人の日」街頭キャンペーン	委員会体験	0
52	2025/1/15	鎌倉市薬事講習会・県下統一調剤事故防止研修会	研修会	0
53	2025/1/16	第2回都筑区薬剤師会研修会	研修会	0
54	2025/1/23	県下統一調剤事故防止研修会（神奈川）	研修会	0
55	2025/1/28	第17回川崎市薬剤師会症候学研修会	研修会	1
56	2025/1/30	第2回研究倫理研修会	研修会	0
57	2025/1/31	第19回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	研修会	0
58	2025/2/6	調剤事故防止研修会（相模原）	研修会	0
59	2025/2/9	セルフメディケーション研修会～各論編～ かかりつけ薬剤師スキル アップ講座（薬局製剤編）	研修会	0
60	2025/2/9	献血事業	研修会	1
61	2025/2/10	第2回多職種連携講演会	研修会	0
62	2025/2/15	薬局におけるソーシャルキャピタルについての研修会/第123回かわ やくセミナー	研修会	0
63	2025/2/16	第1回鶴見区・神奈川県薬剤師合同研究会	研修会	0
64	2025/3/6	ブレアボイド合同研修会	研修会	0

カ 令和7年度からのルーキーメンバー制度実施に向け、「公益社団法人神奈川県薬剤師会ルーキーメンバー制度規程」および、同制度の運用に関する要綱を制定した。

キ 薬剤師資格証交付時に、会員特典リーフレット（令和5年度作製分）を含む入会案内セットを非会員へ配付し、入会促進を図った。また、地域薬剤師会開催の研修会等においても、トライアルメンバー募集チラシや会員特典リーフレットを配付し、入会促進に努めた。[図 T]



図 T：神奈川県薬剤師会ルーキーメンバー募集チラシ

(3) 会員管理

ア 入会審査、会員登録、会員証発行

- ・入会申請に係る入会審査を 50 回実施し、330 名を承認した。
- ・新規会員に対して会員証を発行し、交付（送付）を行った。
- ・会誌「薬壺」神奈川県薬剤師会入会者紹介ページにおいて、本人の承諾を得られた新規入会会員の氏名、所属、所属所在地を掲載した。

イ 会費請求

会費等納入運用要綱に基づき、以下の会費請求を実施した。

- ① 神奈川県薬剤師会会費
- ② 公益法人運営特別会費
- ③ 日本薬剤師会会費

請求方法：

- ・口座振替：6月に1回実施
- ・コンビニ収納等：8月と12月の2回実施

ウ その他

- ・日本薬剤師会への会費納入を実施した。
- ・日本薬剤師会へ会員の異動データを作成し、報告した。
- ・令和6年度医薬品医療機器総合機構副作用拠出金及び安全対策等拠出金の申告・納付依頼を行った。169件（令和6年6月～9月）
- ・会費未納者及び行方不明者について、規程に基づき会員資格喪失の処理を行った。

Ⅲ 共益事業

1 共益事業

(1) 薬剤師の生涯学習の推進

ア 生涯研修プロバイダー（認定薬剤師研修制度）の運営

本会では、平成 23 年度より独自の生涯学習認定制度を運営していたが、平成 29 年 3 月に公益社団法人薬剤師認定制度認証機構の認証を取得し、生涯研修プロバイダーとして、事業を実施した。

① 認証の情報

- ・ 認証番号：G21
- ・ 初回認証期日：平成 29 年 3 月 10 日
- ・ 更新期日：令和 2 年 3 月 6 日（1 回目）
- ・ 有効期限：令和 8 年 3 月 9 日

② 認定者の状況

- ・ 令和 6 年度認定者数：20 名（新規 11 名／更新 9 名）
- ・ 通算認定者数：66 名

③ 研修事業連絡会議

研修事業に関し、地域薬剤師会の研修実務担当者と情報共有を図るとともに、研修会の開催促進および研修内容の充実を目的に開催した。

イ 生涯学習認定制度の普及促進

① 各研修会での周知活動

- ・ 研修会場において生涯学習認定制度の説明の実施
- ・ 申請手順書の配付

② 会誌「薬壺」での情報発信

- ・ 認定薬剤師に関する情報掲載
- ・ 連載企画「認定薬剤師・この人に聞く」による制度啓発

③ 本会ホームページでの情報掲載

④ 外部サイトとの連携

- ・ 認定薬剤師認証研修機関協議会の運営する「認定薬剤師.com」への情報掲載

⑤ 研修制度の拡充

- ・ 連携研修事業と統合した共催研修の新規申請団体を対象に実施

⑥ 認定薬剤師支援施策

- ・ 認定薬剤師向け ID カードの作製

図 U：アクリルスタンド
デザイン



⑦ 県民への啓発活動

- ・県民向け認定薬剤師情報動画の制作
- ・アクリルスタンドの作製[図 U]

ウ 学習環境の整備

日本薬剤師会が策定した「薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダード」に基づき、各種研修を企画、開催した。

① 認定研修会の開催

「令和6年度認定研修会 受講者数一覧」(P54-P55 参照)

形式/認種別	A 認定型 ^{※1}	B 依頼型 ^{※2}	C 共催型 ^{※3}	計
集 合	8	2	20	30
web	6	4	10	20
ハイブリッド	0	1	6	7
計	14	7	36	57

※1 「A 認定型」 本会各委員会が企画・運営する研修

※2 「B 依頼型」 本会各委員会が企画し、地域薬剤師会などと共催する研修

※3 「C 共催型」 地域薬剤師会または実施団体と企業等が計画・実施する研修会

② 共催研修事業 (C 共催型) の視察

(7月協励会神奈川支部全体会 (日本薬局協励会神奈川支部))

日 時：令和6年7月7日 (日)

(県下統一調剤事故防止研修会 (藤沢))

日 時：令和6年11月21日 (木)

(県下統一調剤事故防止研修会 (座間))

日 時：令和6年12月11日 (水)

エ 講師派遣事業等

県内外の患者や生活者が満足する質の高いサービスを提供できる人材を育成することを目的として、神奈川県内の地域・職域薬剤師会等が実施する研修に講師を派遣するなど支援している。

本年度は、次の研修会において本会が講師を選定し、地域薬剤師会との共催により研修会を企画・実施した。

① 薬剤投与中止や減薬のための科学的根拠となる抗コリン負荷スコアの開発研修会

日 時：令和6年10月20日 (日) 13:00~14:40

形 式：web 開催

共 催：横浜薬科大学

内 容：ポリファーマシーによる有害事象と抗コリン負荷スコア

講師 山田静雄氏 (静岡県立大学薬学部名誉教授/特任教授)

② 神奈川県薬剤師会講師派遣事業研修会/第1回海老名市薬剤師会学術研修会/

第3回緑区薬剤師会研修会/湘南東地域薬剤師会協議会研修会

日 時：令和6年12月22日 (日) 13:00~14:40

形 式：web 併用

共 催：海老名市薬剤師会、緑区薬剤師会、湘南東地域薬剤師会協議会

内 容：服薬アドヒアランス向上を目指した製剤設計

講師 並木徳之氏

(帝京平成大学薬学部教授、静岡県立大学名誉教授・客員教授)

③ 薬局におけるソーシャルキャピタルについての研修会／第123回かわやくセミナー

日時：令和7年2月15日(土) 18:00～19:30

形式：web開催

共催：川崎市薬剤師会

内容：薬局におけるソーシャルキャピタルについて

講師 岡田浩氏(和歌山県立医科大学 薬学部 教授 社会・薬局薬学)

オ 学習活動への支援

① 本会企画研修会

・第4回薬剤師倫理研修会

日時：令和6年6月2日(日) 13:30～16:45

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：薬史学から薬剤師に必要な倫理を学ぶ～医薬品販売の歴史と倫理～

講師 高橋洋一氏(横浜薬科大学客員教授)

(SGD) ケーススタディー

・第5回薬剤師倫理研修会

日時：令和6年8月25日(日) 13:30～16:45

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：薬剤師に必要な倫理を学ぶ for2040 変わりゆく地域医療体制
～私達の土台は何か、私達はどこへむかうのか～

講師 鈴木順子氏(北里大学名誉教授)

(SGD) ケーススタディー

・第6回薬剤師倫理研修会

日時：令和6年11月17日(日) 13:30～16:45

形式：web開催

内容：薬剤師に必要な倫理を学ぶ～医療における医療倫理について～

講師 鈴木孝氏(医療法人石関医院理事長・院長、日本大学名誉教授)

(SGD) ケーススタディー

・第2回研究倫理研修会

日時：令和7年1月30日(木) 19:00～20:45

形式：web開催

内容：臨床研究におけるインフォームド・コンセント

講師 飯嶋久志氏(一般社団法人千葉県薬剤師会 薬事情報センター長)

新

② 研究倫理 DVD 作成

倫理審査に必要な研究倫理の学習用 DVD を作成した。

作成枚数：5枚

内容：薬剤師に求められる研究倫理や倫理的配慮について学ぶ

講師 上村直樹氏(東京理科大学薬学部嘱託教授)

※2023年度第1回研究倫理研修会(オンライン研修)を編集。

カ 薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～

日 時：令和6年12月7日（土）14:30～17:00

形 式：web 開催

内 容：

- ・薬局開設者・管理者等が遵守すべき法令について
電子処方箋を始めとした医療 DX や薬局 DX ・サーバーセキュリティについて
講師 芳賀勇太氏（厚生労働省医薬局総務課）
- ・薬局・薬剤師に求められる機能と必要とされる倫理観
薬局 DX が進む中で必要となる情報セキュリティ倫理と対策
講師 長谷川長一氏（株式会社ラック／NPO 日本ネットワーク
セキュリティ協会（JNSA） 教育部会 WG リーダー）

令和6年度認定研修会 受講者数一覧 (令和6年4月～令和7年3月)

会場A	神奈川県総合薬事保健センター	会場K	保土ヶ谷区医師会
会場B	川崎市総合福祉センター (エポックなかはら)	会場L	神奈川県立地球市民かながわプラザ (あーすぶらぎ)
会場C	TKP 横浜駅西口カンファレンスセンター	会場M	加瀬の会議室 鶴見駅前ホール
会場D	崎陽軒本店	会場N	アミューあつぎ市民交流プラザ
会場E	川崎市医師会館	会場O	茅ヶ崎市地域医療センター
会場F	藤沢商工会館ミナパーク	会場P	座間市民健康センター
会場G	済生会横浜市東部病院	会場Q	ウェルシティ市民プラザ
会場H	横浜薬科大学	会場R	旭区民文化センター
会場I	瀬谷区民文化センター	会場S	相模原市総合保健医療センター
会場J	海老名市医療センター	会場T	鶴見医師歯科医師会館

No.	研修会名	日程	曜日	会場	共催	総数
1	第1回緑区薬剤師会臨床学術研修会	4月23日	火	web開催	緑区薬剤師会 クラシエ薬品(株)	51
2	公衆衛生研修会 (薬物乱用防止編)	5月12日	日	会場A		53
3	第13回川崎市薬剤師会症候学研修会	5月13日	月	会場B	川崎市薬剤師会	35
4	神奈川区薬剤師会研修会	5月26日	日	会場C	神奈川区薬剤師会	19
5	セルフメディケーション研修会～総論編～ かかりつけ薬剤師スキルアップ研修会	5月26日	日	会場A		48
6	第4回薬剤師倫理研修会	6月2日	日	会場A		32
7	保険調剤の正しい理解のための研修会	6月30日	日	web開催		131
8	7月協会会神奈川支部全体会	7月7日	日	会場D	日本薬局協会神奈川支部	34
9	第2回緑区薬剤師会臨床学術研修会	7月10日	水	web開催	緑区医師会、緑区歯科医師会、 緑区薬剤師会、旭化成ファーマ(株)	13
10	第14回川崎市薬剤師会症候学研修会	7月16日	火	会場E	川崎市薬剤師会	32
11	第1回都筑区薬剤師会研修会	7月18日	木	web開催	都筑区薬剤師会 キッセイ薬品工業(株)	46
12	公衆衛生研修会 (学校環境衛生検査技術編)	7月21日	日	会場A		25
13	湘南東地域薬剤師会協議会研修会	7月25日	木	会場F	湘南東地域薬剤師会協議会	80
14	第5回薬剤師倫理研修会	8月25日	日	会場A		33
15	薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会	9月8日	日	会場A		40
16	第15回川崎市薬剤師会症候学研修会	9月10日	火	会場B	川崎市薬剤師会	34
17	第17回TYP-Net (鶴見若手薬剤師勉強会) 研修会	9月20日	金	会場G	鶴見薬剤師会 済生会横浜市東部病院薬剤部	14
18	認知症対応力向上研修会	9月29日	日	web開催		69
19	神奈川県薬剤師会学術フォーラムinハマヤク	10月6日	日	会場H	横浜薬科大学	200
20	瀬谷区薬剤師会研修会	10月16日	水	会場I	瀬谷区薬剤師会、(株)ツムラ	16
21	薬剤師向け多文化対応力向上研修会	10月17日	木	web開催	公益財団法人かながわ国際交流財団	53
22	薬剤投与中止や減薬のための科学的根拠となる抗コリン負荷スコアの開発研修会	10月20日	日	web開催	横浜薬科大学	10
23	褥瘡治療薬サミットinかながわ2024	10月27日	日	会場A	神奈川県病院薬剤師会	36
24	済生会神奈川県病院 外来がん化学療法連携合同研修会	11月7日	木	web開催	神奈川区薬剤師会、済生会神奈川県病院	19
25	県下統一調剤事故防止研修会 (海老名)	11月7日	木	会場J	海老名市薬剤師会	23

No.	研修会名	日程	曜日	会場	共催	総数
26	県下統一調剤事故防止研修会（保土ヶ谷）	11月8日	金	会場K	保土ヶ谷区薬剤師会	26
27	公衆衛生研修会（災害時編）	11月10日	日	web開催		70
28	県下統一調剤事故防止研修会（栄・港南）	11月15日	金	会場L	栄区薬剤師会・港南区薬剤師会	23
29	県下統一調剤事故防止研修会（鶴見）	11月16日	土	会場M または web開催	鶴見薬剤師会	60
30	第6回薬剤師倫理研修会	11月17日	日	web開催		37
31	県下統一調剤事故防止研修会（藤沢）	11月21日	木	会場F	藤沢市薬剤師会	53
32	第16回川崎市薬剤師会症候学研修会	11月28日	木	会場B	川崎市薬剤師会	35
33	県下統一調剤事故防止研修会（厚木）	11月28日	木	会場N	厚木薬剤師会	29
34	在宅医療研修会	12月1日	日	会場A		37
35	県下統一調剤事故防止研修会（伊勢原・秦野）	12月4日	水	web開催	伊勢原市薬剤師会、秦野市薬剤師会	72
36	県下統一調剤事故防止研修会（茅ヶ崎寒川）	12月5日	木	会場O	茅ヶ崎寒川薬剤師会	60
37	薬局開設者・管理者等が受けるべき研修会～倫理研修～	12月7日	土	web開催	神奈川県（薬局薬剤師等薬事関係法令研修事業）	58
38	県下統一調剤事故防止研修会（座間）	12月11日	水	会場P	座間市薬剤師会	12
39	感染症対応研修会（鶴見）	12月13日	金	会場G または web開催	鶴見薬剤師会	50
40	薬業連携推進のための病院薬剤師会と薬剤師会の合同セミナー	12月16日	月	web開催	神奈川県病院薬剤師会	49
41	神奈川県統一調剤事故防止研修会（横須賀）	12月17日	火	会場Q	横須賀市薬剤師会	23
42	第18回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	12月20日	金	会場G または web開催	鶴見薬剤師会	17
43	神奈川県薬剤師会講師派遣事業研修会 第1回海老名市薬剤師会学術研修会/第3回緑区薬剤師研修会/湘南東地域薬剤師会協議会研修会	12月22日	日	会場A または web開催	海老名市薬剤師会、緑区薬剤師会、湘南東地域薬剤師会協議会	40
44	鎌倉市薬事講習会・県下統一調剤事故防止研修会	1月15日	水	web開催	鎌倉市薬剤師会	48
45	第2回都筑区薬剤師会研修会	1月16日	木	web開催	都筑区薬剤師会、大塚製薬(株)	48
46	県下統一調剤事故防止研修会（神奈川）	1月23日	木	web開催	神奈川区薬剤師会、大塚製薬工場	32
47	第17回川崎市薬剤師会症候学研修会	1月28日	火	会場B	川崎市薬剤師会	33
48	県下統一調剤事故防止研修会（旭）	1月28日	火	会場R	旭区薬剤師会	17
49	第2回研究倫理研修会	1月30日	木	web開催		51
50	第19回TYP-Net（鶴見若手薬剤師勉強会）研修会	1月31日	金	会場G または web開催	鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院	24
51	調剤事故防止研修会（相模原）	2月6日	木	会場S	相模原市薬剤師会	48
52	第10回神奈川吸入療法ステップアップセミナー（めざす会）	2月8日	土	web開催	NPO法人吸入療法のステップアップをめざす会	17
53	セルフメディケーション研修会～各論編～ かかりつけ薬剤師スキルアップ講座（薬局製剤編）	2月9日	日	会場A		30
54	第2回多職種連携講演会（鶴見）	2月10日	月	会場T または web開催	鶴見薬剤師会、鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、杏林製薬(株)	54
55	薬局におけるソーシャルキャピタルについての研修会/ 第123回かわやくセミナー	2月15日	土	web開催	川崎市薬剤師会	44
56	第1回鶴見区・神奈川区薬剤師合同研究会	2月16日	日	会場M または web開催	鶴見薬剤師会、神奈川区薬剤師会、	41
57	プレアボイド合同研修会	3月6日	木	web開催	神奈川県病院薬剤師会	61
合 計						2,445

(2) リスクマネジメント等事業

ア リスクマネジャー会議の開催

調剤事故等の減少を目的として、各地域のリスクマネジャーを集めた会議を開催し、情報交換等を行った。

① 第1回リスクマネジャー会議

日 時：令和6年7月25日（木）19:30～20:30

形 式：web 開催

内 容：偽造処方箋・多重受診の対応について情報交換

- ・偽造処方箋行使の事例～元勤務先医療機関の処方箋を偽造した疑い
宇井敬 氏（川崎市川崎区エリアリスクマネジャー）
- ・偽造処方箋行使の事例～処方箋送信サービスを悪用した事例～
原田哲王 氏（川崎市幸区エリアリスクマネジャー）
- ・多重受診対応における保険者との交渉について
白子順一 氏（横浜市旭区エリアリスクマネジャー）
- ・広範囲のエリアで多重受診が繰り返されている事例
潮晴光 氏（厚木エリアリスクマネジャー）
- ・多重受診を繰り返し保険者より受診医療機関を指定されたがその後自費処方箋での多重受診が繰り返されている事例
平原正代 氏（茅ヶ崎寒川エリアリスクマネジャー）

② 第2回リスクマネジャー会議

日 時：令和6年9月5日（木）19:30～20:40

形 式：web 開催

- 内 容：
- ・薬局におけるカスタマーハラスメント（迷惑行為）の対策について
講師 遠藤博 氏（かながわ労働センター労働相談課主任専門員）
 - ・薬局プレアボイド報告キャンペーンについて
講師 古平圭吾 氏（薬局プレアボイド小委員会小委員長）
 - ・県下統一調剤事故防止研修会の開催について
講師 篠田豪 氏（リスクマネジメント委員会 副委員長）
 - ・生涯学習認定制度について
講師 柿沼貞之 氏（生涯学習委員会委員長）

イ 県下統一調剤事故防止研修会の開催

開催団体：地域薬剤師会 30 団体

開催時期：令和6年11月～令和7年3月

- 内 容：
- ・薬局におけるカスタマーハラスメント（迷惑行為）の対策について
 - ・行政に寄せられた薬局に対する意見・苦情、注意事項等

ウ 薬局プレアボイドの事例収集の実施

薬剤師は薬物治療において患者の安全確保に重要な役割を担っている。薬局プレアボイド事業は、この重要な業務の「見える化」を図る有効な取組と考え、この認識のもと、以下の通り事例収集を実施した。

（第10回薬局プレアボイド報告キャンペーン）

期 間：令和6年10月1日～10月31日



エ 薬局プレアボイド事例集（第2版）の作製

薬局プレアボイドキャンペーンの開催や web 報告システムの構築等、プレアボイド報告推進に取り組んだ結果、多くの貴重な事例が収集された。これらの中から優秀事例を選定し、「薬局プレアボイド事例集（第2版）」としてまとめ、会員薬局へ配付した。[図 V]

作製数：2,400 冊



図 V：薬局プレアボイド事例集（第2版）
表紙デザイン

オ プレアボイド合同研修会の開催

日時：令和7年3月6日（木）19:00～21:00

形式：web 開催

共催：神奈川県病院薬剤師会

内容：・2023 年度神奈川県病院薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演
・2023 年度神奈川県薬剤師会プレアボイド報告優秀事例受賞者講演

カ 調剤事故防止検討会の開催

日時：令和7年2月14日（金）18:00～19:00

会場：神奈川県総合薬事保健センター

内容：実際の調剤事故事例解説

キ プレアボイド web 報告システムの運用

薬局プレアボイド報告の簡略化および収集事例の分析・解析を目的として、Salesforce を活用した web 報告システムを構築し、令和3年4月より運用を開始している。

・報告件数：621 件

ク プレアボイド報告の分析・評価

大学と共同で薬局プレアボイド報告事例を分析・評価し論文化を進めるとともに、現行の報告システムの改修を検討していたが、別の方法で「見える化」を行うこととし、次年度も継続して検討することとした。

(3) 広報事業

ア 広報推進事業

県民に薬局および薬剤師の役割や機能を広く知っていただくために、神奈川県薬剤師会の facebook と Instagram に定期的な情報発信を行った。(別表1)

また、神奈川県薬剤師会のキャラクターマーケティング推進の一環として、令和5年度作成した「神奈薬ほう介」着ぐるみを、第1回トライアルメンバー交流会および令和6年度通常総会でも披露した。さらに、「ゆるバース 2024in 能登」にもエントリーし、42位の結果となった。(詳細：<https://www.yurugp.jp/>) [図W]

加えて、神奈川県薬剤師会学術フォーラム in ハマヤクにて「神奈薬ほう介」をPRするため、本会公式SNSの二次元コードを掲載したPR用ポストカードを作製した [図X]。

学術フォーラムでは県民向け公開講座、健康測定会、おくすり相談の参加促進を図るとともに、神奈川県薬剤師会の広報活動を積極的に行った。



図X：ポストカード（両面）画像



図W：ゆるバース2024in 能登登録画像

別表1

令和6年度ソーシャルメディア投稿結果

投稿日	投稿内容	区分	投稿者	Facebook	Instagram
4/4	R6年3月献血活動の報告	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
4/23	ほう介着ぐるみ初お披露目	県薬	広報委員会	○	○
5/10	能登半島地震におけるモバイルファーマシーの活動	県薬	広報委員会	○	○
5/22	公衆衛生研修会（薬物乱用防止編）	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
6/7	薬剤師のれしび〜いわしの梅肉揚げ〜	県薬	広報委員会	○	○
6/25	セルフメディケーション研修会〜総論編〜	県薬	地域保健委員会	○	○
7/19	熱中症の季節	県薬	広報委員会	○	○
8/6	実務実習ってご存知ですか？	県薬	広報委員会	○	○
8/16	知っておきたいくすりの知識「食間に服用とは、いつ？」	県薬	広報委員会	○	○
8/27	公衆衛生研修会（学校環境衛生検査技術編）水質検査・受水槽・プールろ過機	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
8/29	トライアルメンバーとしての初仕事！神奈川県薬剤師会YouTube撮影会	県薬	広報委員会	○	○
9/6	神奈川県薬剤師会学術フォーラムPR動画【県民向け】	県薬	広報委員会	○	○
9/11	神奈川県薬剤師会学術フォーラムPR動画【会員向け】	県薬	広報委員会	○	○
10/11	薬学的思考をのばす対人業務スキルアップ研修会	県薬	医療・介護保険委員会	○	○
10/11	ほう介出動！	県薬	広報委員会	○	○
10/18	10月からお薬の値段が変わる！？ 知っていますか選定療養	県薬	広報委員会	○	○
10/18	学術フォーラムで献血活動を行いました！	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
10/21	認知症対応力向上研修会	県薬	地域保健委員会	○	○
10/25	スポーツの秋 スポーツと薬剤師	県薬	広報委員会	○	○
11/12	神奈川県薬剤師会学術フォーラム県民公開講座	県薬	地域保健委員会	○	○
11/18	2024くすりと健康すこやかフェア	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
11/29	薬剤師が勧める冬の飲み物	県薬	広報委員会	○	○
12/26	年末のご挨拶	県薬	広報委員会	○	○
1/1	年始のご挨拶	県薬	広報委員会	○	○
1/24	巳年	県薬	広報委員会	○	○
2/9	薬剤師は街の科学者？	県薬	倫理研修委員会	○	○
2/20	マイナ保険証お持ちですか？実際の利用件数を紹介	県薬	広報委員会	○	○
2/26	JR桜木町駅前広場献血活動	県薬	公衆衛生・学薬委員会	○	○
2/26	健康サポート薬局ってご存じですか？	県薬	地域保健委員会	○	○
3/6	セルフメディケーション研修会〜各論編〜 かかりつけ薬剤師スキルアップ講座（薬局製剤編）	県薬	地域保健委員会	○	○

県薬：30件//地域：0件

30

30

イ 会誌「薬壺」発行事業

薬剤師の学術的資質の向上を図るとともに、薬学・薬業の進歩発展に寄与することを目的として、会誌「薬壺」を発行した。本誌では、薬学・医学領域に関する情報や医薬品に関する情報、神奈川県の変向、薬業界の話題などを幅広く掲載した。

発行：6回（隔月奇数月）各4,270部

配送先：会員、各都道府県薬剤師会、保健所、薬科大学、新聞社他

掲載内容等：

発行月号	頁数	薬壺編集委員会企画記事
5・6	68	① 能登半島地震被災地支援について 第2報 ② 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第10回） ③ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第11回） ④ 新薬紹介
7・8	59	① 能登半島地震被災地支援について 第3報 ② ひととは人生の終末期をどう生きているのか、われわれはその人をどう支えていくのか 最終回 ③ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第11回） ④ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第12回）
9・10	54	① 能登半島地震被災地支援について 第4報（最終回） ② コロナ禍における地域薬剤師会の取組 第1回 コロナ禍における藤沢市薬剤師会の取組について ③ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第12回） ④ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第13回）
11・12	53	① スポットライト 第3回 藤沢市薬剤師会「こども薬剤師体験教室」 ② コロナ禍における地域薬剤師会の取組 第2回 （公社）相模原市薬剤師会のコロナワクチン対応について ③ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第13回） ④ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第14回）
1・2	56	① 神奈川県薬剤師会学術フォーラムinハマヤク 報告 ② コロナ禍における地域薬剤師会の取組 第3回 コロナ禍における横浜市薬剤師会の取組 ～オール横浜の薬剤師の総力を結集して市民の健康危機に対応～ ③ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第14回） ④ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第15回）
3・4	58	① スポットライト 第4回 小田原薬剤師会を訪ねて ② コロナ禍における地域薬剤師会の取組 第4回（最終回） コロナ禍における海老名市薬剤師会の活動 ③ 神奈川県薬剤師会学術フォーラムinハマヤク 優秀賞紹介 ④ 薬害関連書籍の紹介 ⑤ 写真でつづる戦後の日本とアメリカの薬剤師交流のあゆみ（第15回） ⑥ 暮らしに役立つ楽しい化学！（第16回）

取材活動・掲載：

① 地域薬剤師会

他地域にも広めたい活動や、地域の強みなど、地域薬剤師会の特色ある取り組みについて取材を行った。

・藤沢市薬剤師会 こども薬剤師体験教室

日 時：令和6年8月4日（日）〈11・12月号掲載〉

・小田原薬剤師会 健康測定会及び市民公開講座

日 時：令和6年10月27日（日）〈3・4月号掲載〉

② 神奈川県薬剤師会学術フォーラム in ハマヤク

日 時：令和6年10月6日（日）〈大会報告：1・2月号掲載〉

〈優秀賞紹介：3・4月号掲載〉

③ 読者アンケートの実施

誌面作りに読者の意見を反映するため、読者アンケートを実施している。

④ ホームページ運営事業

ホームページのより良い運用や新規システム導入の検討等を目的として委託業者と定期的にミーティングを実施した。

また、会員にホームページをより有効活用していただくため、会員ページに「ホームページ 知って得する活用術」コーナーを新設し、ホームページの便利な機能をシリーズで紹介した。これらの情報はメルマガジンでも周知を行った。[図 Y]



図 Y：神奈川県薬剤師会 ホームページ会員用
ホームページ知って得する活用術画像

第1弾（令和6年8月21日メルマガ配信）：「薬剤師求人情報」コーナー

第2弾（令和6年10月22日メルマガ配信）：「スケジュール」

第3弾（令和6年12月18日メルマガ配信）：「健康測定機器」

第4弾（令和7年2月13日メルマガ配信）：「情報センターQ&A」

第5弾〈令和7年度配信予定〉：研修会案内

第6弾〈令和7年度配信予定〉：活動報告



図 Y : (左) 神奈川県薬剤師会 ホームページ一般公開用ショートカット画像



図 Y : (右) 神奈川県薬剤師会 ホームページ会員用求人登録用ショートカット画像



図 Y : (左) 神奈川県薬剤師会 ホームページ会員用 スケジュールショートカット画像



図 Y : (右) 神奈川県薬剤師会 ホームページ会員用 健康測定機器ショートカット画像



図 Y : 神奈川県薬剤師会 ホームページ会員用
情報センターQ&A ショートカット画像

ウ メールマガジン発信事業

薬剤師資格証関連や新型コロナウイルス感染症関連情報等、合計 65 件の情報を、登録者数 3,024 名に対しメールマガジンとして発信した。主な配信内容は次のとおり：

- ① 04 月 02 日号 厚生労働省【医療情報ネット】公開のお知らせ
- ② 05 月 10 日号 介護保険の「医療用麻薬持続注射療法加算」及び「在宅中心静脈栄養法加算」の届出について
- ③ 05 月 28 日号 令和 6 年度版「薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリスト」及び「薬局におけるサイバーセキュリティ対策チェックリストマニュアル～薬局・事業者向け～」について

(4) 会員に向けた各種支援

ア 会員への各種支援事業

- ・神奈川県薬剤師会の会員メリット向上を目的として、次年度以降に役立つ研修会やイベントの実施について検討を行った。
- ・令和7年度公益法人運営特別会費ランク申告調査にあたり、会員特典を周知するため「会員特典のご紹介」リーフレットの内容を更新し、調査書類に同封するため増刷を実施した。

(図Z)



図Z:「会員特典のご紹介」リーフレットデザイン

イ 会員向け書類

- ・薬局・医薬品販売業、医薬品製造業・製造販売業、毒劇物登録、高度管理医療機器販売業等の更新に関する各種書類を会員に送付し、手続き方法について案内した。

(令和6年4月～3月、338店舗・558件)

- ・麻薬取扱者免許の継続申請及び令和6年麻薬年間届の提出について、該当会員に申請書類等を送付し、所管保健所への提出を案内した。(1,831件)

ウ 薬剤師賠償責任保険・個人情報漏えい保険の普及

- ・日本薬剤師賠償責任保険（個人情報漏えい保険含む）及びアンチ・ドーピング活動保険の加入希望者に対し、パンフレットを送付した。
- ・薬剤師賠償責任保険の加入手続きに際し、日本薬剤師会からの会員登録確認依頼に対応した。

IV 収益事業

1 収益事業

(1) 会議室等賃貸事業

横浜市薬剤師会他9団体(4階)、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社(1・5階)、株式会社矢野建築設計事務所(3階)に対し、引き続き事務室の賃貸を行った。

なお、ヴェオリア・ジェネッツ株式会社は令和6年4月末をもって1階事務室を退去し、5月より5階のみの賃貸借契約へと変更となった。これに伴い、1階事務室の新入居者を募集開始し、社会福祉法人同愛会と契約を締結、令和6年10月より入居となった。

タワーパーキングについては、3月末時点で解約1件あり、16台中15台の契約となっているが、令和7年4月から新規契約1件が成立し16台満車となった。

会議室の利用状況は、4～3月の合計814件であり、前年度件と比べ減少した。

ア 外部会議室利用状況 399件(前年対比 94.5%)

イ 内部会議室利用状況 415件(前年対比 103.8%)

(2) 書籍等販売事業

薬事関係図書の斡旋販売及び用紙等の販売を行った。

ア 薬事関係図書の斡旋販売：51件(937冊) 斡旋販売手数料 199,266円

イ 用紙等販売：172件 594,060円

(3) 神奈川県総合薬事保健センター大規模修繕について

ア 発注・契約

- ① 令和6年3月に締結した大規模修繕工事契約に基づき、令和6年4月より第一期工事を開始した。
- ② 令和6年6月末までに第一期工事は完了し、7月4日に引渡しとなった。
- ③ 令和6年8月より第二期工事に向けた打合せを開始した。
- ④ 令和6年12月に第二期工事費削減ため、空調機器の先行発注を行った。
- ⑤ 令和7年3月14日から第二期工事(4階)を開始し3月末に空調機器が納品された。

イ 第一期工事概要

- ① 工事対象：3階
- ② 主な工事内容：
 - ・天井解体
 - ・既存空調設備の撤去
 - ・新規空調設備の設置
 - ・屋上防水工事
 - ・非常階段の塗装
 - ・建物縦空調配管

ウ 第二期工事概要

- ① 令和7年3月14日～6月末まで
- ② 工事対象：4階
- ③ 工事内容：
 - ・天井解体
 - ・既存空調設備の撤去
 - ・新規空調設備の設置

その他

1 地域薬学ケア専門薬剤師認定制度に係る事業

日本薬剤師会からの依頼を受け、一般社団法人日本医療薬学会が実施する「地域薬学ケア専門薬剤師認定制度」に関し、研修希望者と研修先（基幹施設：病院）とのマッチング業務を受託し、実施した。

(1) 地域薬学ケア専門薬剤師研修調整委員会の設置

ア 委員 橋本真也、小林弘忠、小松敏彰

イ 開催方法 書面会議

(2) 令和6年度マッチング結果

項目	人数等	内 訳	
		地域薬学ケア専門薬剤師	同 副領域：がん
1. 申請者	1名	0名	1名
2. 受入状況	2施設3名	1施設2名	1施設1名
3. マッチング成立者	1名	0名	1名
4. マッチング不成立者	0名	0名	0名

2 緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業

日本薬剤師会が厚生労働省から委託を受けた「緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業」に、川崎市薬剤師会および藤沢市薬剤師会の協力のもと参加し、調査研究事業に協力した。さらに、9月25日からは横浜市薬剤師会にもご協力いただき、事業を推進した。

(1) 日本薬剤師会「緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査事業」への協力

調査研究事業参加薬局

① 川崎市内3薬局、藤沢市内3薬局（～9月24日）

② 川崎市内5薬局、藤沢市内5薬局、横浜市内4薬局（9月25日～）

令和6年度
公益社団法人 神奈川県薬剤師会 事業計画

3年以上の長きにわたって蔓延が続いてきた新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月をもって感染症法上の5類に移行して以降、わが国の社会は徐々に平時モードに切り替わってきました。未曾有のコロナ禍をようやく「過去」としてとらえることができるようになりましたが、一方で、新たな社会課題は絶えず生まれています。

神奈川県薬剤師会では、これまでの経験を活かしながらこうした社会の変化に柔軟に対応し、従来型の発想や手法にとらわれず、公益社団法人として本会に求められている使命を積極的に果たすために更なる成果を上げる必要があります。

そのためにはまず、将来にわたって地域医療の一翼を担い、県民の健康増進、福祉、保健衛生の向上に寄与し続けることができるよう、限られた財源を有効に活用して真に必要な取組を進めること、無駄を省くこと、新たな会員獲得の努力を行うことなどを通じて、本会の基礎体力を維持していかなければなりません。

また、近年は数多くの法令改正、規制改革が実施され、我々を取り巻く状況は大きく変化しています。

このため、本会では時代の要請に合った事業を展開し、薬剤師・薬局がさらに存在意義を高めていくことができるよう、会員をサポートしていくことが必要です。

本会の2大事業である「くすりと健康相談薬局制度」と「生涯学習認定制度」を軸として、これらの着実な事業展開を図るとともに、先の薬機法改正による「住み慣れた地域で患者が安心して医薬品を使うことができるようにするための薬剤師・薬局のあり方の見直し」に盛り込まれた理念の実現と諸制度への円滑な対応に資する取組を積極的に進めなければなりません。

令和6年度の事業推進にあたっては、常に新しいことにチャレンジする精神を基本に据え、次に掲げる取組を重点的に推進していくこととします。

- 1 新規会員の確保及び本会活動の活性化を図るため、薬学部4年生～卒業3年目までの若手薬剤師を対象としたトライアル事業を引き続き実施し、令和7年度に予定されているルーキー会員制度（仮称）の本格実施に向けた準備を進めるとともに、将来本会の中核を担うことになる若手人材の発掘に努めます。

またこの他にも、会員メリットのアピール等を通じて、新規会員の確保・定着に努めます。

- 2 これまで神奈川県病院薬剤師会との共催で開催してきた「かながわ薬剤師学術大会」については、その役割とあり方を見直し、会員にとってより有益なものとなるよう検討を進めます。

- 3 「くすりと健康相談薬局」については、地域薬剤師会の協力を得ながら認定数の拡大を図り、当初設定した目標500薬局のうち、令和6年度は、既に認定を受けている261

薬局に加えて、県内 32 エリアで 1 薬局の新規認定を達成することを目指します。

また、かかりつけ薬剤師・薬局の機能をサポートしていくための取組も引き続き実施します。

- 4 薬剤師の質の向上を図るため「生涯学習認定制度」を引き続き推進し、研修内容の充実を図るとともに、新規取得だけでなく認定更新のしやすさにも配慮しながら、認定薬剤師数の増を目指します。
- 5 神奈川県等と共催で薬物乱用防止の街頭キャンペーンを実施するとともに、学校薬剤師が中心となって県下の児童・生徒を対象とした薬物乱用防止教室を開催し、青少年の間に増加しつつある薬物乱用の撲滅を図るための啓発事業等を積極的に行います。
- 6 委員会活動等を通じてエビデンスに基づく学術研究を推進し、薬剤師の研究能力の向上を図るとともに、地域社会が直面する保健・医療・福祉等の課題解決に結びつく具体的な研究成果を示すことで、県民、行政、関連団体に対して薬剤師のプレゼンスを高めます。
- 7 県下一斉相談週間、くすりと健康すこやかフェア等、県下の薬剤師・薬局が参加可能な県民の健康増進及び福祉の向上に資する施策を、関係団体とも協力しながら展開します。
- 8 リスクマネジメントの取組を進め、プレアボイド報告の分析・評価を引き続き行うとともに、これまでに報告された多数の事例の共有化を図ります。
また、他県薬に先駆けて本会が具体的な取組を進めている多重受診対策についても充実・強化を図ります。
- 9 本会の財務基盤の中長期的な安定強化を図るため、研修会の参加費等について適正な水準を検討するとともに、会費の徴収方法等についても効率化に向けた取組を進めます。
- 10 本会の活動基盤である神奈川県総合薬事保健センターの長寿命化を図るため、空調設備更新を中心とした大規模修繕工事を開始します。

令和6年度事業体系図

〈大柱〉

〈小柱〉

I 公益事業

I-1
薬学・薬業の進歩
発展に関する事業

1. かながわ薬剤師学術大会の開催
2. 日本薬剤師会学術大会等への参加・発表
3. 薬学研究への助成
4. 臨床薬学研究に関する倫理審査
5. 薬学生育成に関する事業
6. 新しい薬局・薬剤師のあり方についての検討

I-2
児童・生徒等に
関する事業

1. 学校環境衛生管理事業
2. 薬物乱用防止啓発事業の支援
3. 医薬品適正使用教室の推進
4. 学校保健向上事業

I-3
医薬品適正使用に
関する事業

1. くすりと健康すこやかフェアの開催
2. 薬と健康の週間事業の支援
3. 医薬品適正使用関連事業の推進
4. セルフメディケーションの推進
5. くすりと健康相談薬局の推進
6. 薬事情報センターの充実

I-4
医療安全に関する
事業

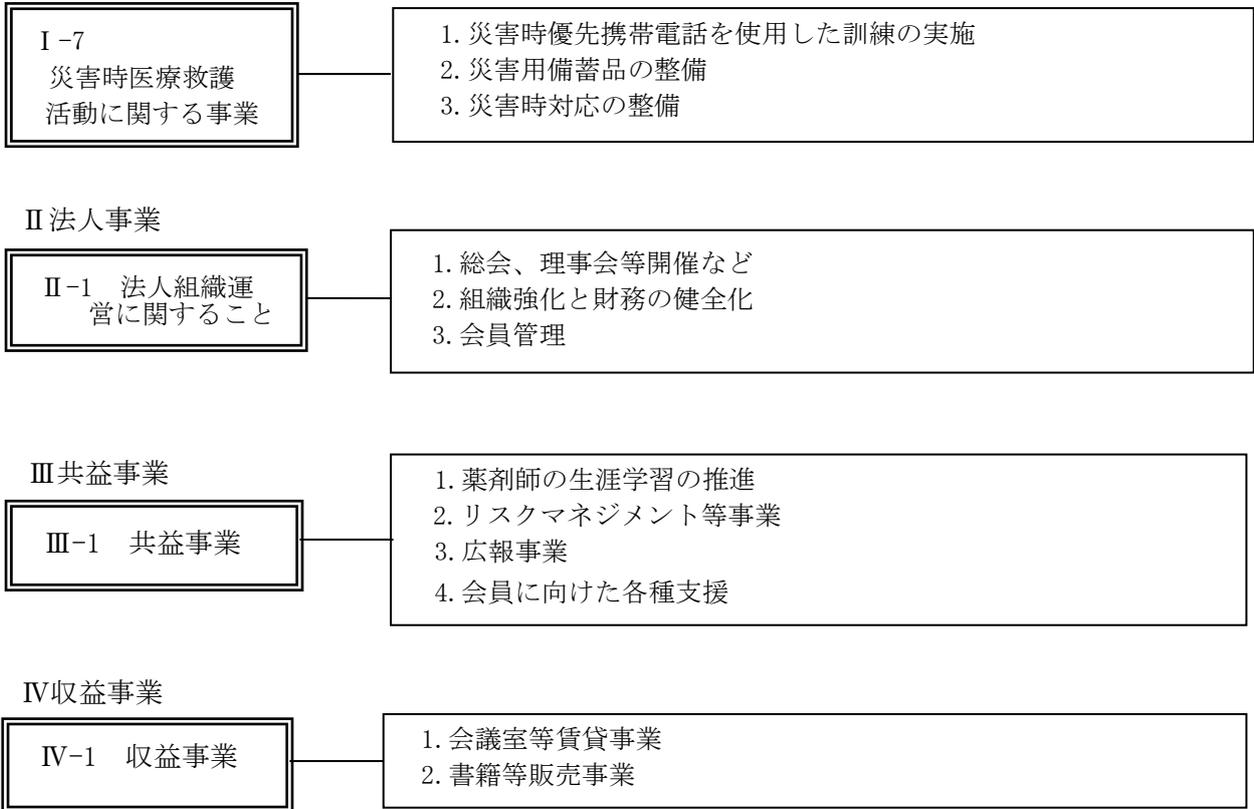
1. 神奈川県医療安全推進セミナーへの参画
2. 県民生活上の医薬品等使用の安全確保事業
3. 多重受診防止対策及び偽造処方箋対策の推進
4. 高度管理医療機器等継続研修会の開催
5. 薬害関連資料収集検討

I-5
公衆衛生に関する
事業

1. 献血事業への協力、推進
2. 薬物乱用防止の啓発
3. 公衆衛生向上事業
4. かながわ健康財団等事業への参画

I-6
地域医療に関する
事業

1. 保健、医療、福祉関係者との連携強化による在宅医療・介護の推進
2. 薬・薬連携の強化と相互の資質向上
3. 後発医薬品の使用促進
4. 医薬分業の質的向上
5. 外国籍県民に対する保健・医療・福祉の支援
6. 地域・職域薬剤師会との連携・支援の充実
7. 健康サポート機能向上に関する事業の推進



神奈川県薬剤師会各種委員会等委員名簿

(敬称略・エリア順)

委員会等名称	担当副会長	担当専務・常務理事	担当理事	委員	担当課
組織委員会	後藤 知良 長津 雅則	平井 和友 塚本 久美	泉 紀久恵 八畝 広幸 藤本 直樹	関水 康成 菅野 宏一 荒澤 実 馬瀬 大介 ◎市川 浩茂 ○金林 福岡 真	管理課
広報委員会	橋本 真也	平井 和友 塚本 久美	伊藤 啓 大岡 石井 泰彦	鈴木 伸悟 ◎澤田 寛之 ○中里 裕之 吉川 幸介 藤田 大輔 吉川 武寿 持田 雄也	管理課
薬壺編集委員会	橋本 真也	塚本 久美	伊藤 啓 森井 大岡 元	中尾 圭佑 吉川 武寿 ○小川 智福 小林奈津子 斯波 晃介 菅野 浩 ◎関根 澄江 田村 理	管理課
生涯学習委員会	橋本 真也	久保田充明	泉 紀久恵 加藤 真介 福嶋 仁	木村 太二 門垣 小泉 熊谷 圭二 三澤 鈴木 杉崎 喜彦 良雄 慶 薫 阿部 隆介 ◎柿沼 吉山 友二 ○友田 健 飯塚 重雄 山村 健太 ○河野 一規 三浦 健太 長沼 寿志	事業課
医療・介護保険委員会	長津 雅則	佐藤 克哉 小林 弘忠	阿部 正隆 夏目 善文 福嶋 仁 藤本 直樹	渡辺 美穂 林 成昭 露木 聡史 吉田 匡志 中原 村山 菅沼 漆畑 茂之 慶 慶 賢吾 俊哉 ○梶谷 浩義 今井 良紀 ○亀山 俊 江島 慎太郎	事業課
公衆衛生・学業委員会	後藤 知良	平井 和友 小林 弘忠	唐澤 淳子 八畝 広幸 藤本 直樹 石井 泰彦	永田 浩美 ◎和田 森田 滝澤 滝澤 ○濱地 市川 今村 裕樹 優作 眺美 裕樹 学 諸富 崇 青木 紀恵 関根 秀樹 藤原正一郎	事業課
地域保健委員会	長津 雅則	佐藤 克哉 大島 崇弘	唐澤 淳子 阿部 正隆 夏目 善文 石井 泰彦	丸岡 沙織 宇井 敬 樋島 学 田中 大嗣 ○鷹山 毅 澤田 弘之 ◎林 直子 鈴木 大介 尾形 真美子 ○堀川 壽代 市川 和子	事業課
リスクマネジメント委員会	後藤 知良	久保田充明	伊藤 啓 森井 大岡 元 石井 泰彦	市川 順子 大貫 ミチ 小川 亮子 白子 順一 ○篠田 豪 ◎三堀 賢太郎 古平 圭吾 新田 淳史 芦塚 拓也 星野 高志 鈴木 康生 原 和夫	事業課
倫理研修委員会	橋本 真也	大島 崇弘	竹内 尚子 菅野 君子 八畝 広幸 深澤 仁	◎斉藤 美月 山田 裕介 武田 亜希子 小橋 紀子 ○安藤 典幸 高村 優子	事業課
学術大会実行委員会	後藤 知良	平井 和友 久保田充明	唐澤 淳子 加藤 真介 深澤 仁	野村 清司 ○齋藤 邦夫 勢登 祐志 ◎中村 正樹 今村 裕樹	事業課
実務実習委員会	橋本 真也 長津 雅則	久保田充明 大島 崇弘	竹内 尚子 阿部 正隆 夏目 善文 加藤 真介	○須田 哲史 河野 和宏 ◎片山 周也 日下部 吉男 加藤 孝平 岩井 俊秀 上田 知弘 難波 昭雄 石川 弓子 芦刈 典子 駒井 元彦 婦川 貴博 矢野 裕一 ○寺嶋 智子 廣原 正宜 鳥越 一宏	事業課
災害対策検討委員会	後藤 知良 長津 雅則	平井 和友 小林 弘忠	○泉 紀久恵 森井 大岡 元 深澤 仁	田村 英樹 ◎日向 彰	事業課
くすりと健康相談薬局制度運営協議会	後藤 知良 橋本 真也 長津 雅則	平井 和友 全常務理事	-	益山 光一 今井 澄江 ◎篠塚 達雄	事業課
代議員選挙管理委員会	-	平井 和友	菅野 君子	木村久美子 岡野 克樹 原 延正 鈴木 康久 岩井 俊秀 渡邊 浩一 越田 良仁 小林きぬ子 狭間 純 山田 修 三 太郎	管理課
総会議事運営委員会	後藤 知良	平井 和友	八畝 広幸	笹谷 康子 澤田 弘之 稲葉 学 ○松原 幸三 橋 津義 石井 豊 星野 高志 ◎鈴木 大介 中山 啓一	管理課
役員選挙管理委員会	-	平井 和友	菅野 君子	石川 弓子 ◎岡野 原 延正 鈴木 康久 中村 渡邊 浩一 越田 良仁 ○小林きぬ子 川口 健次 山田 修 今井 和成	管理課
第2次公益法人運営特別会費検討委員会	後藤 知良	平井 和友 大島 崇弘 小林 弘忠	大岡 元	高木 健司 ◎山下 伊藤 耕司 鈴木 馬瀬 石井 大介 康久 大介 豊 嶋崎 真義 ○臼井 得雄 鈴木 和巳 神原 章喜	管理課
新しい薬局・薬剤師のあり方検討WG	後藤 知良	久保田充明 塚本 久美	大岡 元 石井 泰彦	玉田 慎二 秋葉 保次	事業課 管理課
倫理審査会	-	-	-	竹内 尚子 武藤 清川 久秀 菅野 君子 大澤 正俊 ◎上村 直樹 高橋 省三 今井 澄江 小松 順子	事業課

令和7年3月31日現在

令和6年度神奈川県薬剤師会組織図

